京城日報
夕刊
一月二日(月)
編輯兼發行人 小川三之介　印刷人 見吉治
發行所 京城府太平通一丁目 合資會社 京城日報社

すき燒 鳥料理 水炊 旅館 本町二 喜久家

輝く初日が躍進の多望な半島を象徴

半島首都の元旦は陽光麗かに改まつた人々の氣持ちを彌やが上に朗らかにした、さながら伸びゆく國運の象徴のごとく射しそふ朝日影を受けて、こゝ光化門通りより仰ぎ見る白堊殿堂の輝かしさ、交叉された大國旗の二つが微風を孕んで大門上をゆらりと泳ぐ、その下をサイレンも朗かに晴れの參賀官民を乘せた自動車が絡繹となく吸ひ込まれて車寄せに列をつくる頃、廳內第一、第二兩食堂は大禮服の勅奏任、フロックモーニングの禮裝に威儀燦然たる廳員で埋まつた

外人團の顏も晴やかに 賑かな本府祝賀式

『暖かい春で洵に結構だ』と 總督元日日和を賞づ

異色樣々の各國領事團は米總領事デイス氏を初め獨總參事、中華民國總領事の顏も朗かに、一般外人實業家、宣教師等を加へて約五十名、白髮を撫して矍鑠たる朝鮮老貴族達、その功績を物語るもの燦として胸間に輝くも床しく、休憩室はオメデタウの交換、談笑の渦卷である

この日宇垣總督は陸軍大將の禮裝、今井田總監は大禮服、相前後して定刻前登廳、午前十一時五十分第一會議室において領事團及び外人の祝賀を受け、シャンパンを拔いて『おめでたう』の交換をなした總督は晴れやかに微笑を含んで『暖かい春で誠に結構です氣溫は少し降つた樣だが、風がないので外は案外暖かい』と和やかな元旦日和を賞讃した、十一時廿分總督、總監初め勅奏任官の拜賀式、同廿分判任官の拜賀式あつて總督は代表者の賀詞を受け、終つて一同大理石輝く大ホールにコの字型に整列、正面に總督、總監各局長等着席して冷酒を酌み、宇垣總督先づ盃を擧げ一同之に和し、總督の朗々たる發聲によつて、聖壽萬歲が奉唱され一同三度これに唱和し芽出度くも光輝ある總督府迎春の儀式を終つた

正月二日の宮中拜賀式 午前十時正殿に出御

【東京電報】天皇 皇后兩陛下には二日も午前八時晴れの御服の後同十時からお揃ひで宮中正殿に出御、伯爵、從二位、勳二等以下從四位迄に同夫人及び勳二、三等外國人同夫人の拜賀を受けさせられ引續き同十一時からは貴衆兩院議員始め高等官從六位以上並に奏任待遇の神職門跡寺院の住職、准奏任庇外國人、勳四、五、六等外國人の拜賀を受けさせられたが、午後一時から同四時迄の間には正七位以下從八位以上、功六、七級勳七、八等並に奏任待遇の參賀を受けさせられた

異常なる緊張裡に 軍司令部の拜賀式 川島司令官が軍の自重を力說

元旦の佳日を迎へて朝鮮軍司令部は此日午前十時卅分部員一同會議室に參集、川島軍司令官により御眞影拜賀式を擧行、續いて軍司令官は偕行社にのぞみ偕行社々長として社員一同とともに杯をあげて朝鮮軍萬歲を唱和、明けて益々多端なる軍部の重大性と自重を力說した

寫眞說明 (上段)本府御眞影拜賀式、(上から二段目)本府職員の乾盃(三段目)李鍝公の本府祝賀御訪問(下段)向つて右が宇垣總督の朝鮮神宮參拜、同左が同じく今井田政務總監

近衛公が園公を訪問

【東京電報】近衛文麿公は一月二日興津に西園寺公を訪問して政情を報告し、政局問題について懇談する豫定である

問題の男 蔣介石故鄕へ

三中全會に出席のため漢口より南京に引揚げた蔣介石は四日會後郡邑傍々墓參のため鄕里奉化に宋美齡夫人同伴歸鄕の途中上海に立寄り陳紹寬、吳鐵城市長其他數名の要人に會見後軍警戒裡に高昌廟の江南造船所碼頭より軍艦逸仙に乘込み奉化に向つた(寫眞は高昌廟の江南造船所碼頭にて右より孔祥熙令孃蔣介石宋美齡夫人である)

國府が對日戰端開始を 東北諸軍に嚴命す

聯盟で日本を不利にせんと

【東京三十一日發電】國民政府は三十一日張學良を通じ熱河の所謂東北義勇軍及び民團軍に對し、聯盟に於ける日本の立場を窮地に陷らしむる策戰上、一月十六日前に日本軍と戰端を開くべしとの嚴命を發した、目下熱河にある義勇軍の配備左の如し

第一旅劉翰泉―熱河　第二旅李錫如―錦西　第三旅吳殿甲―開魯
第四旅王天樹―朝陽、建平　第五旅吳宙澂―北票

その他曹桂庭等の各民團軍を各地に配す

全面的に對日戰鬪を開始か

【南京三十一日發電】確報に依れば國民政府は更に各地駐屯軍に對し、密令を發し日本軍と全面的戰鬪を開始すべく諸般の準備を整へてゐる、右は蔣介石も熱河を失ふは滿洲擾亂の根據を失ふを恐れた結果である

見事鮮米を擁護の 總監朗かに歸る 小委員會案にこの上變更なし

十一月下旬の上京以來昭和八年度本府豫算打合、米穀統制委員會に委員として出席鮮米差別待遇撤廢のため大奮鬪をなした今井田政務總監は四十日振で暮も愈よ押詰つた大晦日午後七時京城驛着、令孃和子孃(一七)、矢野秘書官、渡邊遞信局經理課長を從へ歸任した、車中特別車に訪へば總監は上機嫌で左の歸來談を試みた

一時朝鮮豫算は大削減を加へられたやうに傳へられ騷いだやうであるが、大藏省査定の結果は本府の要求は大體に於て認められお互ひに嬉しいことと思つてゐる、たゞ私鐵買收が本年度に於ては僅少額に止まつたのは殘念であるが、緊縮豫算の方針が嚴守されてゐる際だから已むを得ない、本府としては私鐵買收の建前で進むことは依然として變りはない

◇

米穀統制委員會に於ては鮮米差別の爲めの有力な運動が行はれ、本府側は頑張り通し、小委員會案は一月十一日頃の特別委員會に附議せられることになるが、この小委員會案の內容を訂正變更されることはあるまいと思ふ、上京中の有賀頭取も特別委員會に出席するが、自分も或はそれ迄に上京して出席するやうになるかも知れない

政友強硬派と國同 愈よ倒閣に協力か

山道、山口兩幹事長近く協議 首相以下が諒解運動へ

【東京電報】政友會強硬派は倒閣の目的で行動しつゝあるが、幹部の統制は保てさうもなく議會は紛亂を豫想されてゐるが、強硬派は近く會合して結束を堅める事となつた、政府では事態容易ならずと見て齋藤首相以下各閣僚は新年早々對策を講じ、手分けして諒解運動を試みる筈であるが形勢重大である、國民同盟は政友會の強硬派と連絡をとり倒閣の共同戰線を張らんとして、山道幹事長は近く山口義一氏と會見して協議する事となつた、尙安達總裁は陣頭に立つて質問の矢を放つ事となつた

齋藤內閣が議會後 總辭職の噂高し

【東京電報】齋藤內閣は議會終了後總辭職する形勢なので、重臣方面ではその成行を重視してゐる

蘇聯駐支大使はボゴモロフ

【モスコー一日發電】ソヴエート政府は駐支大使としてデイミトリー・ボゴモロフ氏を任用するに決し南京政府にアグレマンを求めてゐた所、承諾を得たので同氏を駐支大使に正式に任命した

本府圖書館開館

年末年始休館中の本府圖書館では一月五日より平常通り午前九時半から開館す

あすの天氣(3)

高氣壓は支那內地から朝鮮を經て本邦に擴つてゐる南岸は曇り其他は一般に天氣は良く氣溫は昨朝より稍々高くなつた、明日も大體天氣は良い

京城	晴一時曇	
二日正午	零下	〇・四
二日最低	零下	一〇・八

正誤

一日付九面悲鳴農林局長談と同十面總督府殖産局長談の記事は見出と本文の組違ひにつき訂正します

總督官邸の新春 救世軍も來賀する 葦水翁自らの接待

六十六歲の春を迎へた宇垣總督である、さなきだに早起きの總督は更に朝く白む頃既に起床、齋戒沐浴して東方を拜し、一家揃つて元旦の食卓に就いた、健康狀態も頗る良好、偉軀を陸軍大將の禮裝に包み『いゝお天氣だ、元旦日和だ』と喜びながら午前十時過ぎ、安井秘書課長を伴ひ自動車を驅り朝鮮神宮に參拜、車を廻らして總督府の拜賀式に臨んだ、式後昌德宮に王家を訪問して賀詞を述べられ、零時半官邸に入つた、倭城臺の官邸は朝來賀客の絶えまがなく、また數千の賀狀は配達され、邸前は車と人で織るが如き光景を呈した、歸邸後打寛いで御主人自ら接待役を勤め、午後五時頃まで賀客のお相手を勤めた、總督が歸邸して程なく救世軍々樂隊が年賀に到邸、食堂で君が代を奏し、終つて聖壽萬歲を奉唱し、總督の健康を祝して引揚げた、すべてに和やかな元旦風景であり、倭城臺は春風駘蕩たるものがあつた

總監邸の賑ひ 賀客三千餘名

今井田總監は宇垣總督に續いて十時過ぎ朝鮮神宮に參拜、總督府の拜賀式に臨み、式後龍山に軍司令官及び師團長官邸に年賀の挨拶をなし、更に總督官邸を訪問、午後零時半頃歸邸した、こゝも亦賀客の來訪織るが如く、午前十一時頃から午後三時頃までは殺到の盛況を呈し、更に夕刻まで斷續的に訪客を受けた、昨年よりは少いと言はれるが、賀狀は堆く積まれる方であるといふ、その數五千を越した、この日の總監夫人は御主人の不在中はもとより歸邸後も台所で來客のお接待に御主人とともに大多忙をきわめた

殿りの勇士通過 多門師團凱旋終る

屠蘇の香に醉へる京龍驛頭 感激！感激の情景

年頭の龍山驛、光るレールに歡送の響を傳へて驀進して來る凱旋列車に今日も至誠が描く皇國日本の花は咲いた―讃歎卅日京龍通過母國

凱旋 の日をつけてより第三日目、師を連ねる國旗の國旗に詩春も施はしく全市をあげて新春を迎ふ元旦の午後七時卅分、滿洲部隊の最高名譽兵隊の精鋭步兵二十六聯隊の勇士五百四十名を乘せた凱旋列車は今日を限りと謳く街の櫛頭に凱歌を揚げつゝ一路母國歸還の途に上つた、寒風激しきホームには梅崎第二十師團長、兒玉軍參謀長以下軍部將星をはじめ今日もまた

赤誠 の京城市民二千餘名を以つて埋められ、一同赤誠の集ひを棄てゝ、鐵兒の勇士とともに『謳く正月の夜の關樂』を龍山驛に現出した、駐屯して以來一年八月、滿洲全土に至らざるところなく皇國の生命線を死守して東奔西走した鐵兒の勇士は、猶盛の香り去りやらぬ戰塵の戎衣に滲々たる武勳をしのばせて『こゝはみくにの』の歌を歌つた、至誠を投げる軍部官民の歡波の如き萬歲に勇士けふ車窓に上半身を乘り出して『明けましておめでたう』を叫んだ

屠蘇 の醉さめぬ櫻色の少壯將校連け金ピカの禮服も何のその、下車する聯隊本部の凱旋將校を迎へてワッショ〱の掛聲勇ましく胴上をすれば兵士は晋頭をとりつゝ一般市民に『お目出度う』を投げかける、晴衣の少年と高島田の娘さん、そして正月の酒にメートルをあげた赤誠の歡送者、官民の叫ぶ萬歲の聲と兵士の投げる『お目出度う』は幾度となくとり交されていつた

午後八時、汽笛一聲鋭くや二千名の歡迎者は今日を最後と破れんばかりの

萬歲 を連呼、その歡呼の嵐の間を通して『お國でよいお正月を迎へて下さい』と高島田の娘さんの優しい聲が鋭く、迎へらるゝ勇士、迎ふる市民ともに元旦と凱旋にあふられて氣けうらら、散々の將校胴上げに續いて最後に凱旋列車の總指揮官川村聯隊長の一際胴上が敢行された、發車する列車を前に名殘を惜む將校が打ちあげる凱旋隊長の胴上げは迎へ出た二千名の

群衆 をいやが上にもあふつて、正月が描く特有の凱旋歡呼は、鐵兒の下、屠蘇に赤き兵士の一齊的萬歲唱和に、怒濤の如き大喚聲を響かして、日もまばゆき日の丸の國旗に、赤誠民衆の心のテップを幾度となく切りつゝ勇士の名殘を『お目出度う』に籠めて元旦の龍山驛に別れを告げた、かくて第一列車をはじめ午後八時五十分の第二列車、同十時四十五分の第三列車、來る列車毎に益々

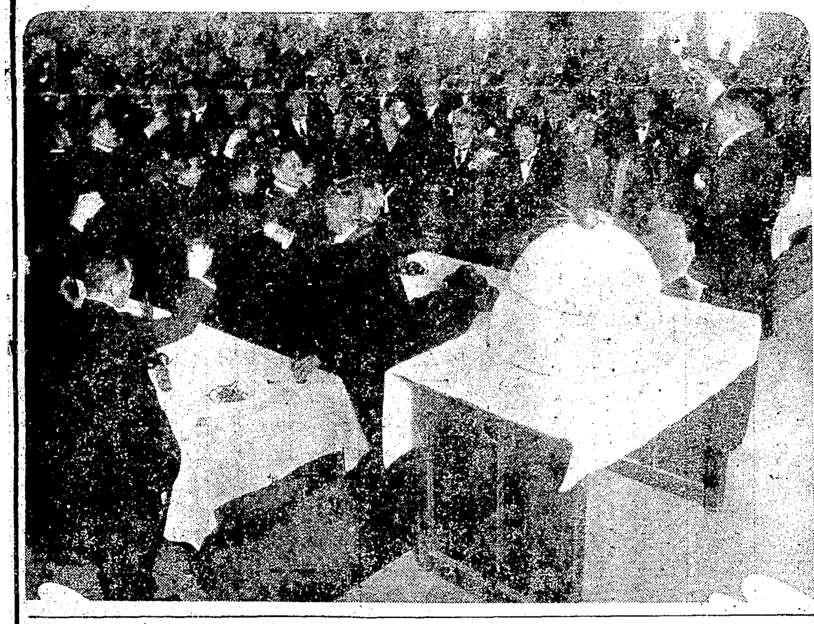
熱意 を加へ龍山驛ホームは兵士の投げる『新春の譽』と市民の叫ぶ萬歲に皇國日本の赤誠の華を咲き散らして、今次事變最高名譽兵團多門師團は元旦午後十時卅分龍山出發の步兵部隊を以つて晴れの凱旋京龍通過を完了し、憧憬の母國に步武堂々と凱旋することゝなつた

川村聯隊長 動功を語る 龍山驛頭の胴上げ

龍山驛ホームで少壯將校から胴上げにされた川村聯隊長は機嫌よく語る

九月十八日柳條溝爆破から十一月四日の大興戰鬪、引續いて起つた馬占山追擊戰、昂々溪チチハル、ハルビン、錦州、滿洲全土至らざるところなくかけ走りました、將士は一兵に至るまでよく軍規を守り聯隊旗の下に生命を投げて戰つてくれました、只今凱旋するに當りましてつくづく考へせられるところであります、かくの如くわれ〱の大分任務を盡くして下されたの國民に對しては只感謝の外はありません、今日は正月元旦であります、のにかくまでに盛大なる歡迎を受け、一同深く感じ益々以つて自己の任務の重大なるを銘肝した次第です、何卒貴紙を通じて官民一同にお禮を申して下さい、こゝに謹んでみな樣の歡迎を謝するとともに新春を謹ぎ申し上げます

名刺交換會 堂に溢るゝの盛況

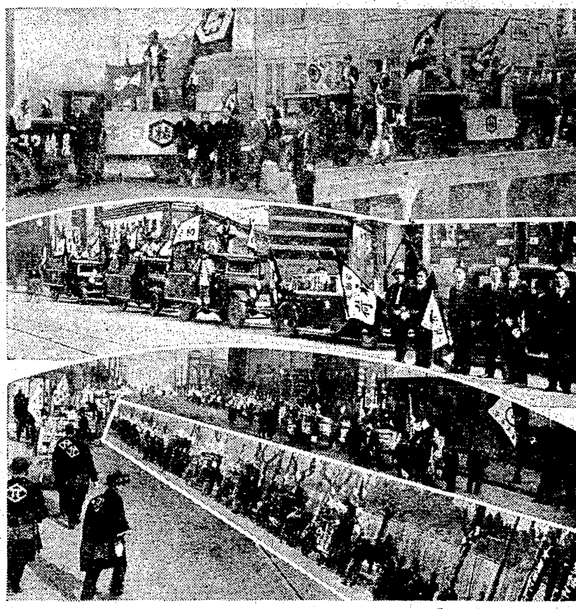


京城府主催の新年名刺交換會は元旦午後零時半より長谷川町公會堂にて開催、參會する府內官民の貴顯紳士實に千一百名、文字通り堂に溢るゝの盛況を呈し、定刻先づ井上府尹壇上に起つて天機奉伺を謹ぎ最後に 天皇、皇后兩陛下の萬歲を三唱して一同と共に杯を上げ參々伍々散會した＝寫眞は名刺交換會＝

釜山の送迎 先頭部隊の勇士達 故國へ向けて出帆

【釜山特電】昭和八年の新春劈頭武勳に輝く多門師團長を送迎する釜山は、官民こぞつて感激と歡喜の裡に我等の皇軍の送迎にあたつたが、多幸なる八年一月一日の午後三時釜山府、慶南主催にて官民合同のもとに公會堂にて多門師團長以下幕僚參謀長、各聯隊長、各部隊長に滿鮮國際の祝宴を招待して歡迎、感謝の宴會を催し、約七百名の官民有志が會合して定刻に入るや、君が代合唱に次いで大島府尹の挨拶があり、多門師團長けあくまでも武勳を誇らず謙讓なる態度で滿北の原野に屍をさらし護國の鬼と化した將卒の忠烈をたゝへて絕大なる感銘をあたへた、終つて渡邊知事の乾杯にて萬歲を三唱して樂隊を雙肩に[illegible]盛二日午後より各部隊の歡送は豫定の如く行はれ、野砲第二聯隊步兵第十六聯隊並に第二師團司令部は第二棧橋より御用船『ゆうばへ丸』に搭乘、一路內地へ向つて出發したが、釜山驛、棧橋を中心として送迎の府民にて滿ち、萬歲の歡呼は街にあふれた

掛聲勇ましい初荷



躍り出た！酉の歲 初荷行進と年賀狀の大洪水

◇……けふは初荷、新春を迎へて酉內よ盛んなれ、とかつぐ荷物の威勢も勇ましく商店の自働旗をなびかせつゝ市中をねつて廻る景氣のよさ、まさに時ならぬかな迎春行進曲である、殊に今年は財界の好調が約束されて初荷の賑やかさも又格別、中にはビージャン〱の朝鮮樂隊を先頭にした派手なものもあつた

◇……年賀郵便の洪水の中で各局は元旦を不眠不休で捌いてゐた京城郵便局は大晦日までに累計設積越合せて既に六百六十七萬九千通、昨年に比し八分九厘增の殺入な賀狀を取扱つてやつと一息ついたが、さて次に來るものはこの殺到した賀狀の配達を遺漏なく行ふことで、元旦八時、早くも集配人二百名を招集、局員國事に盡死し、局長に代りて見野郵便課長から激勵の訓示をうけ正九時昭和八年第一日第一號便として滿腹したカバンを抱へて一齊に各家庭の玄關に突進した、なほこの第一號便に配達された郵便物は百四十九萬五千通で、一人が約七千五百通を配つたことになる

だつた上景氣であるにひきかへ各街、通りには、グデン〱になつた泥醉者はほとんど姿を見せなかつたが、府內各署を通じて街の交通事故は一件もないといふ好成績、これも非常時の聲が全大衆に徹底したものとみえる……

東京暮れの慘事 父と口論し 四名を殺傷 現場で逮捕さる

【東京電報】卅一日午後九時本郷區湯島六丁目十九番地撞球場經營野村善江(さ)の長男止(せ)は父然社と口論し猛獸用五連銃を持ち出して父然社を射し、野村家の主人區會議員北澤茂藏(さ)の四名をうち、野村隆は即死、北澤外二名は重傷、犯人は逃げ込んだが、北澤は遂に死亡し同人父然社は重傷、敵は生命危篤に陷つた犯人は現場で逮捕された

街の正月

◇……常設館は大入り ◇……盛り場も賑ふ

◇乙女のつく羽子板の音も晴やかに昭和八年の元旦が訪れた、清掃された街は迎春の飾にはち、非常時日本の難局を打開する雄々しい大衆の心意ひよ、かくて內に、外に希望と喜びの盛みもあふれて景氣のよい國旗氣分にこの街一帶が包まれる

爆竹した初春氣の中に人、人、人で渦卷いたのは各常設館と各劇小屋だ、殊夜に面の各常設館、小屋の公園に殺到する觀衆、觀てゐる各興行主は、何れも國旗氣分に上氣した前を硬突させてゐる、殊に若島にはカーキ色の兵隊さん達が潮放された元旦の日の喜びを滿足氣にこゝで迎へてゐる、揚り高げ各館各小屋とも極意にしてゐるが、大正館の大入袋一圓、中央館の二圓八十錢等から推して昨年と比較すれば、すばらしい大入りだ

一方元旦ながらも店をあけたカフェー中、丸ビル、瀏英館、赤玉、バロン、本町バー等は雪樂から常連の往來で賑やかさを示した、かうして盛り場けも一段と[illegible]

十二日から東京春場所 斷髮力士も新歸參

【東京電報】昨年の春場所に醜を發し、東方出羽海部屋の大の里天龍以下三十二力士が協會を脫退して反旗を翻へし、西方幕內以下の十五力士も脫退し、革新を叫んで脫退、新興及新力士團を組織して相撲界の分野は二大分裂して以來滿一年、出羽海部屋の脫退力士秩父島、綾櫻、新海、外ケ濱、伊勢濱、高の花、錦子洋等の中堅を脫して又元の師匠の許へ歸參し、國技館の手續きをとつた、分裂の過去一ケ年間に曾派と脫退派との間に驚くべき變化が來たのは當然と言へやう、唯注目すべきは、これ等新復歸力士が斷髮姿で土俵上に姿を現せば肉猛は父然社するであらうが、一ケ年間步を分つて全く逆に相撲をとつてゐた脫退派の各力士がこの猛烈して如何なる相撲振をやることかである・脫退留力士も又決死的に鬪つて歸參派の意氣を示すべく、土俵上の壯烈なる肉彈戰は初日の十二日朝から展開されるであらう

明治神宮參拜 無慮五十萬

【東京電報】陽光輝かしく昭和八年の新春は新らしき喜びと共に明けた、回顧すれば外には滿洲事變から滿洲國の成立更にこれをめぐる國際聯盟の動き、內には未曾有の赤字財政インフレーション政策國債の暴落、齋藤內閣の出現、五一五事件等々文字通り多事多難の一年を送つたが、更に國民の緊張をより强化すべき新年を迎へ前年に九十萬國民の新春に對する新たなる祈願と抱負は當節だけに見ても各所の神社佛閣參拜者の增加によつて十分知ることが出來る先づこの日明治大帝御神前に參拜者無慮五十萬、大東神宮は參拜者は前夜の除夜から元旦に掛て參拜者は歸々長蛇の列をなし、老若男女の差別なく一樣に祈願をこめてゐる姿は流石に非常時日本の姿を反映せしめてゐる、元旦午前六時には嚴かな元旦祭が神宮々司に依つて揚げられ、こゝ代々木の森は明けな氣が全神苑に漲つてゐた

雄基の元旦

【雄基特電】雄基の元旦は年末からの雪も止み初日の出照り宜る午前十時より小學校にて官民合同の祝賀式を擧げ、同十一時無事式が終つた、昨年末大雪となり之がため馬、自動車、汽車等皆不通となりすべての運輸交通出來ず、殊に雄基に發送する貨物は激增、鐵道開通の自動車不通のため鐵道に滯貨しゐるので新年の初貨に間に合はなくなつたとこぼしてゐる

京義線の列車顚覆未遂

【平壤特電】三十日午後一時頃京義線新安州、魚水間の線路に妨害を企てたものあり、發見されて事なきを得たが、黃海道嘉山郡嘉山面新上里、車生煥(二七)同徐均(二七)の兩名を犯行被疑者として捕へ、そのすぢで目下取調べ中

お正月の小遣を贈る 滿洲の勇士に

府內老子洞一四八番地山崎賢、同俊さんの二人は卅一日本社を訪れ『これはお正月の小遣としてもらつたものです、どうか滿洲で働いてゐる兵隊さんに送つて下さい』と一錢銅貨九十枚入の貯金箱を置いて立ち去つた、本社は正月の小遣ひを節約して寄附する奇特な少年の行爲を直ちに愛國部に傳へた

朝鮮神宮初詣で 今年は斷然新記錄

＝四萬六千九百八十一人＝ 京城神社も賑ふ

―半島守りの朝鮮神宮へ二八擢ふて初詣で―南山麓の半島鎮守・神宮に元旦の初詣りがどれあつたか、漸く調査が濟んだ、調査によると總數四萬六千九百八十一名、この中內地人が殆んど全部を占めて四萬五千六百六十二人朝鮮人が四百十九人、支那人六人歐米人が一人といふ數字である。

★―今年は惠まれた晴かさのため除夜の鐘が鳴り終るや否や、雪崩れ込んだ參拜群は松の間から昇る六時頃まで次第に增加し、遂に昨年の新記錄三萬二千二百四十一人をはるかに突破してしまつた

それにしても、昨年十四人あつた支那人の參拜人が今年は六人に減じ歐米人は一人とは淋しいことである、神宮の賽錢から大小とりまぜて約七百圓、昨年の五百五十餘圓に比較して百五十圓の增加は33年の財界が好況を示す前兆として頗る緣起がいゝ、社頭で飮ませる御神酒が昨年六斗五升で間に合つたが、今年はとうとう四斗樽三本を完全に乾してしまつたから初景氣素晴らしいものがある

★―京城神社の參拜人總數四萬二千五百餘人といふこれ又この凄い賑ひで、夕方まで境內に身動きならぬ雜踏だ、お蔭で五百圓位、八幡樣のおみくじに投せられた一錢銅貨が千四百枚、稻荷も五十圓以上の入りを示し京城神社に比して劣らぬ參拜熱と崇敬心を現した勢を見られるであらう

人の動き 東京の正月

【東京電報】インフレ景氣に惠まれた昭和八年元旦、人の動きのバロメーターである鐵道省各驛につき其の乘降者を調べて見ると、何れも昨年より一、二割增で乘降の好景氣がこそはと思はれる盛況を讃つてゐる、何といつても此の日乘降者の一番多かつたのは明治神宮を抱いてゐる原宿驛で、平常の困散を破つて三十萬九十八と新宿を斷然抜いた、これに續いて新宿け二十四萬人で昨年の二割增、成田不動を初め幾多の名士を控へた上野驛が十一萬七千八百人、其他兩國驛の六萬品川の七萬何れも何れもの盛況で行樂の昭和八年の景氣を充分に現してゐる

□本社主催□ 第九回冬期 體育講習會 愈よ七日から開始

本社主催の朝鮮、京畿道、京城府三教育會後援の第九回冬期體育講習會は七日から十一日まで五日間本社樓上に於て擧行されることとなりその講師も大體完成した、各講師の講習種目は、既に發表した通りであるがその概要は次の通りである、なほ山崎講師は目下大阪市大手前に於て擧行されてゐる講習會に出席し必ずや新味を加へたものを發表されることであらう

賀正

四日より八日まで 年頭初賣出し 全店

現金五圓以上御買上の方に、吉例お年玉として松竹又は日活映畫觀覽券(大正館招待券又は喜樂館招待券)を一枚進呈

但、商品券、煙草、食堂、圖書、白米、薪炭等の特殊商品は御容赦願ひます

吉例吳服雜貨賣出し 八日まで ホール

景品付國產毛布賣出し 八日まで ホール

春向小紋モス着尺陳列 二階中央

主催 朝鮮教育新聞社 全鮮生徒書き初め展覽會 ―五日より八日まで・五階ギャラリーにて―

三越 京城

月經 眞生園

月やくの御手當は……

一日一刻も早いが肝腎、あれこれと迷ふのは藥物です。それには永い間經驗を積み皆樣から信用を戴いて居ります本園の經驗で、上記の兩先生が御證明になつた眞藥を、おすゝめいたします。これは服み易い錠劑で、安心して用ふることが出來ます。

御手紙下されば詳しい說明書を差上げます又御急ぎの方は容態を詳き送料切手三十錢お送りになれば適藥を別名で急送します。

本舖 京都市山ノ內四十九番地 眞生園

胎兒の榮養 滋强飲料 カルピス

謹賀新年 三ツ矢ソーダ 發賣元 大阪 越後屋

ハタノエガヨクデキマシタゴホウビニ グリコ

カラスヤ ミタマサ 三田政

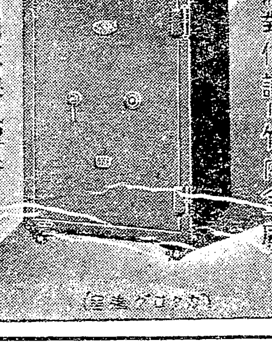
旅行中につき年始缺禮仕り候 長谷川町 徐丙軾

最高級品 育兒用 眞珠ミルク

育ての親― 良質の牛乳が持つ豐かな榮養分を完全に保つて居ります 愛兒の發育と健康の爲にぜひこのミルクを御用ひ下さい

新田煉乳製造所

竹內金庫

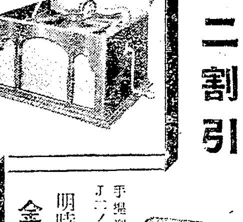


火災盜難は不慮の災厄 絕對保証は竹內金庫

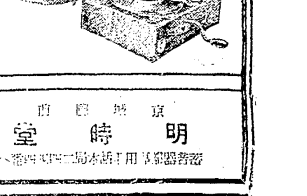
朝鮮總代理店 株式會社 熊平商店 京城本町二

ビクター二割引

新發賣 ビクトローラ(J一の五〇)デパートでも他の店でも四十五圓を 明時堂では三十六圓に



手提型ビクトローラ J二ノ五 金五十圓 明時堂では金四十圓



京城府廳前 明時堂 蓄音器部

吾人の覺悟

擧國一致團結 國難を征服せん

朝鮮軍司令官 川島義之

茲に昭和八年の光輝ある新年を迎へ、聊か蕪辭を述べて新春初頭の詞に代へんとす。顧みれば滿洲事變勃發以來既に一歳有餘を經過せり。此の間に於ける皇軍の活動は世人の知る所にして、我朝鮮軍も亦或は滿洲方面に、或は間島方面の同胞の保護に、或は匪賊討伐等に任じ、皇國の爲貢献し得たるは衷心欣懷とする所なり。而して半島二千有餘萬民衆の皇軍に對する熱誠なる後援は實に感天をして起たしめ感激措く能はざる處なるが、其最も顯著なるものは愛國飛行機、鐵兜、慰問用品の献納なりとす。現下世界的不況に累せられつゝある我半島民衆が窮乏其極に達しある者に至るまで均しく競つて献金し愛國の赤誠を披瀝せるが如きは之れ萬邦無比の國體なるは勿論なるも、一千萬民衆の克く今回事變の眞意を了得せるが爲にして皇國の爲洵に慶賀に堪へざる所なり。今や滿洲事變は滿洲國の建國愈々鞏固となり、匪賊討伐一段落を告げんとし、然るに國際聯盟は依然認識不足を持續し、加ふるに各國の私利を交へ、我が正義の主張を沒却して滿洲國の嚴然たる存在を抹消し、我帝國を再び危難の地に置かんとするが如き情勢に在りて、此間に處し吾人は擧國一致益々團結を鞏固にして、向後如何なる國難に遭遇するも毅然として之を征服するの覺悟なかるべからず、聊か所信を述べ新年の詞と爲す。

東亞回天の大業中

國民的大望に邁進するの一途

第廿師團長 陸軍中將 梅崎延太郎

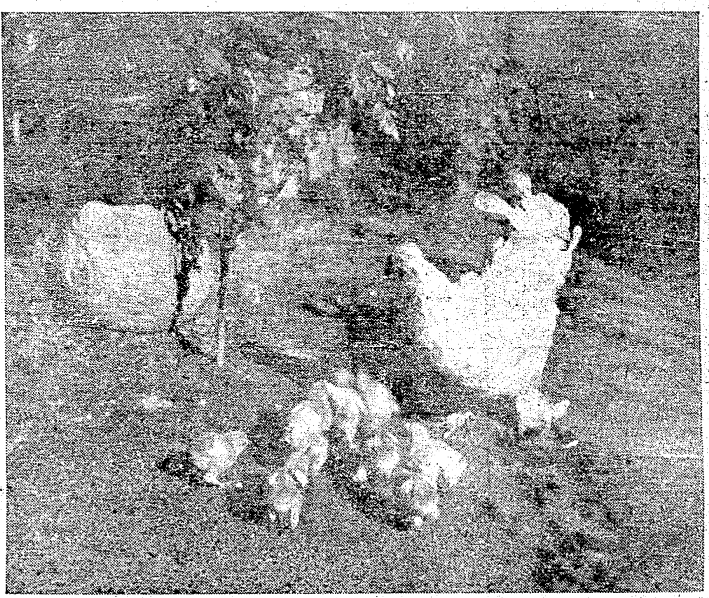
茲に恭しく皇紀第二千五百九十三、昭和八年の新正を壽ぎ奉る。新年の朝暾、曉々として宇宙に君臨し、一點の私曲なきを拝する時、吾人の祖先自ら任じて此大國を肇めしたことに、誰か日本帝國臣民としての深き信念を想ひ起さざるものがあらうか。顧れば昭和七年は滿洲事變の後を承け、皇軍の向ふところ亞細亞の妖氛漸く一掃され、九月十五日、滿洲國を承認して日滿議定書成るに及び皇道を開いて天日を冒すの觀があつたが、ゼネヴァを中心とする國際聯盟はまた安定するに到らず、撞着の間に歳が暮れた。

滿洲國の前途は洋々として希望に滿ちてゐるが、國際利害の紛糾は容易に亞細亞情勢の認識を正當に轉向せしめず、此間に夷を以て夷を制せんとする支那の國際聯盟外交が行はれ、米國漸く干渉の歩を悟ると雖も、之に對し將來の風雲は益々予斷を許さず、米國は勿論、世界の視聽は今や東亞に集注し、今や一層重大なる時局に直面して居る。況して今日迄積極的に交渉の要點となりつゝあつたが、世界小國は多衆を擁して國際聯盟の舞臺に活躍し、之を内にしては今後多少の難問題の横たはること周知の通りである。

惟ふに時局の前途は決して樂觀を許さぬものがある。内外一層の多事多難は吾人亞細亞回天の大業遂行裡にある者の深く覺悟せざるべからざるところ、皇國發展の悲願は時に際して吾人の緊褌を要する、吾人は國民の深く考へてゐるところ、外人やゝもすれば吾人日本人を目して熱しやすく冷めやすく小成に安んじ易いと云ふ、固よりこれは淺薄なる批判であるが、吾人は過去の事實に省みて多少の感慨なきを得ぬ、苟くも日本正義の命ずるところ、邁進すべきである。

希くは此新年に際し、國民に光輝ある皇運扶翼の年となすを期せられんことを。更にこゝに鑑みて、堅忍不拔の心を以て心とし、國運打開の一路に邁進し、以て國民的大望に邁進するの一途あるのみ。換言すれば皇道を顧みて仆るゝも已まず、時局有終の美を濟すべきである。我々は此新年に際して、男女を問はず、卑くも國民の大業中にあるを自覺し、當面の國難を打開する皇運扶翼の機を訓し終る。

最善の努力を傾倒しつゝありと雖も、内外の時局を打破し國運の伸張を期すべき秋である、吾人の危局に際し今日より一層の國民の努力を以て國難に處し國家の根本を固くせねばならぬ。



本社懸賞寫眞『鷄』二等　京城旭町三　高橋淸水氏

世界の大勢を見るに今や世界は正しく一大轉換の渦に陷んでゐるやうである。それはいふ迄もなく歐洲大戰の齎した經濟上の破綻であり、これが爲めに經濟の世界は益々紛糾され、世界の思想は新らしき方向を求めて社會機構をさへ改めんとする傾向を生ずるに至つた。翻つて我國の現状を見るに亦其波動を避けることを得ず、今や一世の風潮は偶々世界の不況に捲込まれて民心の動搖は今日より甚だしきはなく、而も國際的不況は經濟界の行詰りと共に其影響は一層甚だしく、農村の疲弊は日を逐ふて緊張の度を加へ、民心安定を缺くの状況にあるのである。

茲に内外多事多難の此時局に際し、今日より更に一層の努力を以て、國民一致の力を以て難局を打開する事は時局に處する最も切要なるものであると感ずるのである。此非常時に於て生れた現内閣は擧國一致の體制を以て非常時局に對し、內閣以來未曾有の國難打開に努力しつゝありと雖も、内外の國勢を顧みて滿洲國の承認、其他國家の前途は猶ほ暗澹たるものがあるのである。

最善

に非ざれば能はざるものと信ずるものである。茲に多幸なる新年を迎へ吾人は叙上の意義を體し、心身を一新して萬古不磨の光輝燦々たる國體の精神を發揮し、新たなる生活に進み國の大局を自覺して、官民一致協力邁進する所以を期せられんことを、京城は半島の首都として文化の中心としてその發展を期待されて居り、或は其の重大なる使命とを自覺せる府民各位の熱誠なる努力により、大京城の建設に着々として力強き歩武を進めつゝあることは洵に御同慶に堪へない處である。

順調

の經過をたどつて來たことは、府民各位のよく府政を理解して熱誠をこめた後援の然らしむる處であつて誠に感謝に堪へぬ次第であるしかしながら我京城は半島の首都たる許りでなく今や立派なる國際都市である、從つてその體面よりしても將また府民の福祉增進の上よりしても施設すべき幾多の問題が横たはつてゐるのである。此重大なる時期に於て政務の按配は極めて重要事であつて、一度これを過つては百年の悔をのこすに至るのである。しかも財界は依然として不況に益々深刻化しつゝあつて市民の生活は逼迫しつゝあるが如く見ゆるも未だ回復すべき時期でない今や制度改正第三年を迎へ吾人は時勢の趨向を察知し府民の福祉増進の爲府政各般に對する施設の立案計畫に當りては、内は仔細に檢討熟議を重ね緩急調節を計

り、外は經濟財政の確立を計り、

輿論

に鑑みて全力を傾注し、府政の圓滿なる進展施設の擴充政策を期し、この難局を突破することに最善の努力を拂はんとするものである、希くば、府政に對する吾人の微衷を諒せられ、四十萬府民一致一團、偉大なる京城の建設の精神を以て時局に處し、不撓不屈の精神を以て我等が大京城建設に府治の進展に勇往邁進せられんことを切望して已まざる次第である。

大京城建設へ

四十萬府民の一致協力を望む

京城府尹 井上清

顧みれば昨年は一昨年よりして國運の飛躍を進めた結果、正義の向ふ所敵なく翻然たる軍閥の府を見るに至りたり。更に内外多事多端であつた國連の事件は立ち所に聯盟し、更に一年にして昨秋途に二千萬民衆の熱望により新興滿洲國の建設となり、着々としてその基礎を固め

危機

帝國の國威益々揚り國運々伸張を見るに至りたりと雖も、事件は今や國際聯盟の難題に遭されて其の形勢樂觀を許さず、正に重大なる危機に直面してゐるのである。熟々

殊に一昨年秋滿洲に起つた大きな事件は帝國が正義人道の爲敢然と

本懷に堪へない

農村振興會の活躍

京畿道知事 松本誠

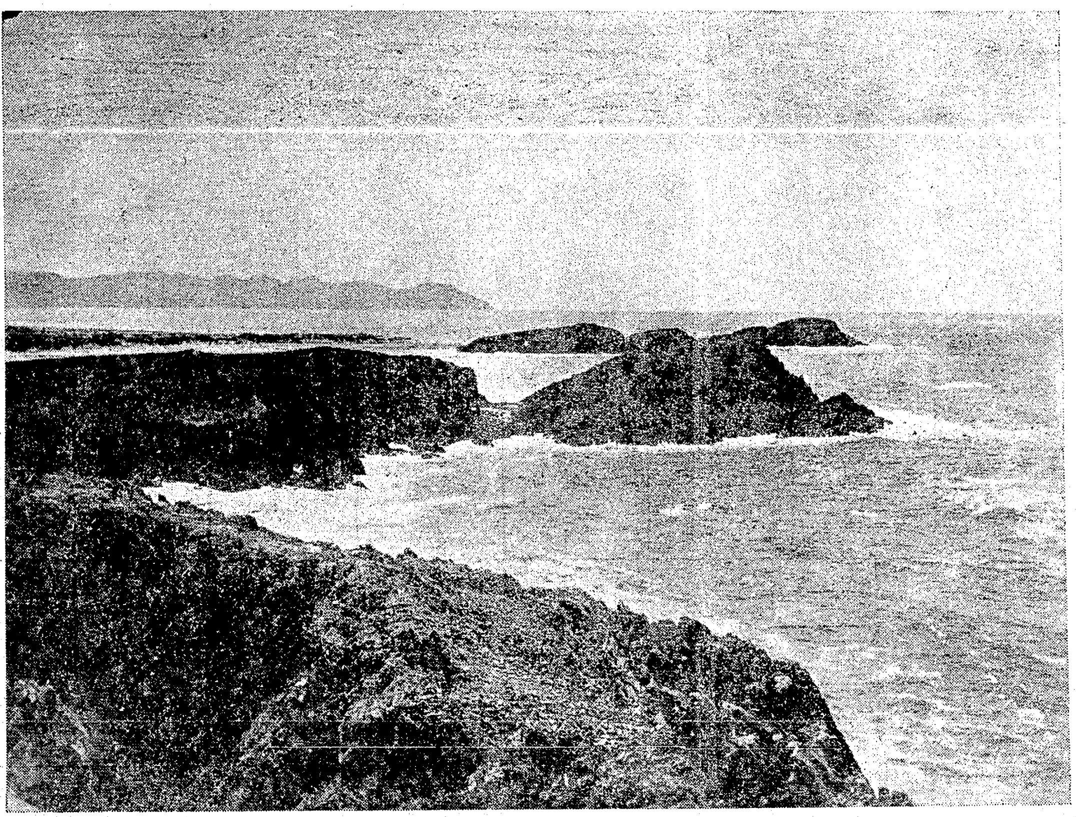
乾坤一新茲に光輝ある昭和八年の新春を迎へ二百萬道民と共に恭く聖壽の無疆と皇室の彌榮を壽ぎ奉り、併せて國運の隆昌を希念する次第である。

顧れば昭和七年は眞に多事多難であつた。之を内にしては、歐洲大戰後の財界不況に基づく國民經濟の疲弊困憊と、加ふるに世界的思潮の動搖に因る思想界の混亂錯綜とは、社會人心を極度の不安に陷らしめ、之を外にしては、滿洲事變の勃發による皇國正義の大警も徒らに列國の迷妄に禍せられて、爲に我が外交は曠古の危機に直面するに至り、國情眞に内憂外患共に到るの非常國難に遭遇したのである。然るに幸にも上、聖明の御威德と下、爲政當局の機宜の施措と、且又國を擧げての緊張したる意氣と力とによりて、漸くその前途に難局打開の光明を認めつゝ越年し得たことは、邦家の爲洵に心强く、感ずる次第である。

翻つて本道々治の現状は明治の聖代の盛運に浴し、道内諸民其の嚴肅な施政概ね適良にして、健實なる道勢の伸張を見つゝあることは欣快とする所である。

殊に比年沈滯せる經濟界の不況に對應し、一面道民の多數を占むる農村の疲弊を根本的に匡救せむとする旨趣の下に、客秋十月一日始政記念日に際し、諭告を發して道民に一大覺醒と奮起とを促した。農村振興會の施設に就ては、幸に道民一般の自覺を喚起し、道内各郡各里洞を擧げて之が設置を見同十一月末を以て全部の完了を告げ、今や各地共中心人物の誘掖指導の下に、愛敬ある活動を見つゝあることは洵に本懷に堪へない所である。

惟ふに本振興會は其の期する所部落民の自力更生的建設的努力に基づく個人の安榮と、隣保相助共勵其營に因る部落の發展とにありて、これが目的の達成は、惟に道治の眞諦を現する所以であり、而も斯くして農村の振興は都市の繁榮に及び、遂に國力の充實を將來するに至るのである。此に思ふ時之が成績の舉揚に任ずる指導者の職責は極めて重大であることを痛感するのである。蓋し朝鮮の農村は之を内地に比較して、土地及勞力の利用に於て、國家經濟の態勢に於て遙に改善發展の餘地を存するのであつて、此の點に鑑みて農村振興の指導に任ずる吾人の使命は寧ろ將來ある境遇に在りと謂ふべきで、指導者は此心境を持して更に一段の熱誠と努力を傾倒すると共に、振興會の發展は、やがて現下の國難を打開する所以に想到して擧道一致目的の達成に邁進せむことを期待して已まない次第である。



──勅題「朝の海」──本社寫眞部撮影

滿天下の婦人方へ急告!!

御覽になりましたか

四大附錄つき大評判、大賣行の

「婦人俱樂部」新年號

賣れる〳〵飛ぶ樣な大賣行

四大附錄

(1) 花嫁花婿必要帖＝四六判美本四百頁

(2) ペン毛筆婦人習字帖＝三七判美本二百頁

(3) 現代大家色紙集＝十二書伯揮毫袋入り十二枚

(4) 人相手相獨占ひ＝三六判美本百二十頁

右の附錄だけでも七、八圓の値打!

實物をゼヒ御覽下さい

ゼヒ書店で他誌とお比べ下さい。安いこと雜誌中で第一番! 決して誇張では御座いません。確信を以て申上げます。

又々賣切近し!!

增刷又增刷の大さわぎ。もう之以上の增刷は絕對不可能! 賣切れぬ中お求め下さい。

演藝案內

朝鮮劇場　仁寺洞パゴダ公園横入　電光三二一

一月一日晝より五日間　天下の大封切!パラマウント社超特作全篇發聲日本版

歡呼の涯　全九卷

監督ステイヴン・ロバーツ氏　主演ジョージ・バンクロフト氏

謎の眞空管　全八卷

監督エドワード・ケント・スローマン氏　主演ビリーチャーズ・クラック・アンレン氏

團成社　鍾路三丁目入口　電光九五九

正月一日晝夜二回より特別大興行

女王樣御命令　全十卷

巨匠ハンスシュワルツ氏監督　リリアン・ハーヴェイ、ウィリイ・フリッチ氏主演　ウーファ超特作全篇發聲日本版

◇パラマウント超特作　その夜　全十卷

◇明治座

京龍館

助太刀辻講釋

毛利有明、五十鈴桂子

クロール賭けて

俠勇猛進

東亞俱樂部

三千世界藤栗毛

大正館

お猿の先生

若いマドロス

富士の絕景

春

鼠小僧次郎吉

歡喜の一夜

中央館

娘一人に婿百人　全六卷

彼女の運命　全十卷

神變麝香猫

中村聲波師を

朝日座

出雲ろく孃

浪花館

美勝會

喜樂館

煩惱秘文書

細君新戰術

三人組

ガソリンボーイ

演藝館

乃木將軍　全五卷

舶來文明街　全九卷

仁川出帆豫定

阪神　山口丸　一月廿八日
阪神　伏見丸　一月廿八日
阪神　櫻島丸　一月廿九日
阪神　福井丸　一月廿九日
尾ノ道、阪神　浪江丸　一月廿一日
名古屋、大阪　東　丸　一月二日
[illegible]

代理店　野口商會

鮮航同盟會　仁川支部

朝鮮汽船出帆廣告

仁川出帆
釜山出帆
木浦出帆

大阪商船株式會社

威海衛、芝罘、大連行　利通號
威海衛、芝罘、大連行　共同丸
鎮南浦、大連、天津行　長山丸

謹賀新年

外金剛長箭港 江原道漁業組合聯合會 電話三〇番

高城郡 郡守 鄭然基

高城郡教育會

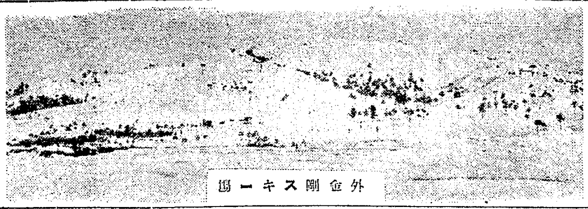
江原道長箭港 河村良三 電話二四番

外金剛長箭港 新北面長 黃永尉

長箭港 公醫 崔圭河 電話三三番

外金剛溫井里 金剛山森林保護區 主事 伊東達美

溫井里溫泉


外金剛スキー場

スキーの本場

合資會社 東海物產商會 東海運送部

江原道長箭港 料理 ちくし樓 電話二八番

高城金融組合 高村島吉

高城驛長 渡邊晴海

朝鮮總督府 朝鮮總督府鐵道局 江原道廳 東洋拓殖會社 金剛山電氣鐵道會社 咸興地方法院 ジャパン・ツーリスト・ビューロー 御指定旅館 ラヂューム溫泉內湯 朝鮮外金剛 嶺陽館 電話一九・一〇番 振替京城一二六八七番

朝鮮總督府 朝鮮總督府遞信局 江原道廳 朝鮮殖產銀行 江原道金融組合聯合會 朝鮮窒素肥料會社 東京帝國大學演習林 江原道漁業組合聯合會 御指定旅館 ラヂューム溫泉內湯 萬龍閣 外金剛溫井里・電話八番

外金剛驛長 小林嘉六

高城郵便所長 松井信行

高城邑內 割烹料理 坂本剛

外金剛高城邑內 花屋旅館 電話八番

日本海上保險株式會社代理店 京城日報溫井里支局 外金剛スキー倶樂部事務所 金剛山土產品並にスキー用具 國本一郎商店 振替口座一六六二六番

外金剛郵便所長 桂一夫

長箭郵便所長 土田鋭實

高城郵便所長 河口卯一

高城邑 高城警察署 職員一同

外金剛長箭港 御料理 清見樓本店 電話一二番 外金剛溫泉場 御料理 清見樓支店

金剛山高城郡高城邑內 司法行政代書所 主 小林儀助 外書記一同

外金剛長箭港 株式會社 林兼長箭出張所 電話四番

咸南西湖津港 奧山忠八 電話三五番

咸南興南公立尋常高等小學校長 川邊早多 外職員一同

咸南興南邑天機里 西松組出張所 電話一四一番

咸南興南邑天機里 醫師 足立平藏 電話四五番

咸南興南警察署長 加藤誠 外職員一同

咸興府魚菜市場代行者 咸興魚菜株式會社

咸興府大和町 大和食堂 電話八二四番

咸興刑務所 職員一同

咸興府軍營通 新築落成 笹沼寫眞館 電話一五七番

咸興府昭和通 御旅館 千歲館 長電話三三一番

咸興府本町 三中井吳服店 電話五二九番

咸興府大和町 佛蘭西料理 カフェークロネコ 電話六三四番

咸興府大和町 金光正市 電話一四番

咸興府驛前 株式會社 大二商會出張所 長電話四五七番

咸興醫師會

咸南 三湖漁業組合

咸南新浦港 布谷國三郎

咸鏡線新上驛前 春柳水利組合

咸鏡線新上驛前 新上學校組合管理者 名取袈裟藏

咸南下碣 鶴丸

咸南長津森林保護區 森林主事 杉野勇

咸南長津郵便所長 梅田與作

咸南長津邑內 松田商店

咸南道評議會員 長津郡中南面長 林昌虎

咸南長津邑內 公醫 鄭臺敎

咸南長津邑內 料理 大島家

咸南豐山邑內 御旅館 寶來館 小田又一

咸南惠山鎭 雜貨 笠井支店 電話一八番

咸南惠山鎭 杉山幾次郎 電話一六番

咸南惠山鎭 佐々木福太郎

咸南甲山郡 普惠面事務所 職員一同

鴨綠江採木公司長白分局 服部榮七

咸南三水郡好仁面長 玄元三

咸南三水警察署長 柳檝

咸興府會議員 大川市二 長津郡長興金鑛

西湖津西湖船組 二木莊吉

國際運送株式會社西湖津出張所 上野雅男

咸南西湖津學校組合管理者 小原重威

咸南咸州郡西湖面長 李智永 外職員一同

咸興府大和町 北鮮自動車運輸合資會社 電話七四七番

咸興府大和町三丁目 日本石油株式會社販賣店 飯田商店 電話一二四番

咸興府大和町 南海食堂 電話八二一番

咸興府會議員 倉掛喜丈 電話三三一番

咸興府軍營通 御菓子司 風月堂 電話三六六番

咸興府本町 割烹 長崎亭 長電話四七番

咸南利原郡遮湖港 太田房藏

咸南新興郡廳 職員一同

咸南新興公立普通學校長 長友眞喜哉

咸南新興公立尋常小學校長 岡村美熊

咸興料理屋組合

咸興無盡株式會社 咸興土地金融株式會社 社長 信田秦一郎

三井物產株式會社咸興駐在所 三輪孝貞

咸興郵便局 職員一同

咸興水利組合 職員一同

咸州郡廳 職員一同

咸南利原郡南面昌興里 **利原鐵山株式會社**

咸南端川郡廳 職員一同

咸南端川警察署長 **河崎武千代** 外職員一同

新興鐵道株式會社 **瀧儀三** 咸南新興郡松興里

咸南興南邑事務所

咸南興南邑 **東一銀行興南支店** 電話一一一番

咸南興南邑 **富田商會 咸興出張所** 長電話一〇七番

蔬菜、果實、乾干魚、海藻類其の他加工食料品委託販賣 **咸興市場株式會社** 取締役社長 土谷惟一 咸興府營羅市場

咸興府本町 **松月旅館** 長電話七〇〇番

咸興府會議員 **玉置省二**

片倉製糸紡織株式會社 **咸興製糸所** 長電話一二五・五〇八番

咸南新乫坡 官民申合會

咸興府廳職員一同

咸南道立咸興醫院 職員一同

咸興府大和町 **咸興物產株式會社** 長電話五二〇番

咸南道評議會員 咸興府會議員 金夏涉

咸南端川公立普通學校長 清傳吾

咸南端川公立普通學校長 關根明 外職員一同

朝鮮運送株式會社 咸興支店長 守屋柳治

咸興府軍營通 洋食料品 明治屋 電話五六五番

朝鮮物產檢查所元山支所 咸興出張所 職員一同

朝鮮總督府專賣局 咸興出張所長 佐竹親友

咸興驛前 朝日タクシー 電話六四七番

咸興府大和町 株式會社 帝國商事支店 電話八〇二番

咸興府軍營通 文房具 學用品 オモチャ 伊藤文勝堂 電話五六四番

咸興府朝日町 本町券番 電話五三九番

咸興府軍營通 右田電機商會 長電話四五四番

咸興府大和町 咸鏡繩叺株式會社 電話七一三番

咸興府大和町 咸興タクシー株式會社 電話一三三・八二九番

咸興府軍營通 淵野食料品店 電話四四六番

咸興府本町一丁目 櫻井善三郎 電話七一九番

咸興府軍營通 雜貨化粧品 吉田十善堂 電話七六七番

咸興府會議員 森田秦祐

咸興府大和町 金物 銃砲 火藥類 吉本太一郎 長電話一四一番

咸興府大和町 北鮮倉庫株式會社 長電話六六三番

咸興府曙町 御料理 淀川 電話七三三番

咸興府會議員 池田金治郎

咸興置屋組合

咸興府黃金町 橋口政義 電話七一二番

咸南洪原邑內 公醫 奧野朝三郎

咸南三湖郵便所長 野中忠良

咸南北青郡 新浦面事務所 職員一同

咸南利原郡南面長 李純華 外職員一同

咸南新昌港 山田吉駒

咸南新昌面長 金昌爀

咸南新昌港 新昌同池部 金禧桂 電話九番

咸南新昌消防組頭 田窪悅藏

咸南北青郡 新昌漁業組合

咸南新昌港 覺幸松太郎

利原郡東面長 金益鉉 咸南群仙港

咸南遮湖郵便所長 林廣輔

咸興地方法院端川出張所 永尾源一

咸南端川郵便所長 入船作次郎

咸南端川邑內 藥種商 丸子角一 電話九番

咸興府會議員 佐田實 電話二〇一番

咸興府軍營通 水口製綿所 電話八五三番

咸興府會議員 國枝拾九郎

咸興府軍營通 富田履物店

咸興府軍營通 ヘニヤ小間物店 電話四〇九番

咸興府軍營通 山田蔘藥堂 電話四四五番

咸興府軍營通 富士屋玩具店

咸興府軍營通 金山酒造場 電話三三七番

咸興府大和町 金物 建築材料 怡昇商會支店 長電話四〇五番 本店 平壤府本町一九

咸興府本町一丁目 金物商 是吉廣之助 電話八二二番

トヤマ帽子店 咸興府大和町 支店 咸興府軍營通

咸興府軍營通 松尾酒店 電話一五八番

咸興府本町一 藥劑師 恒松藥局 長電話三〇番

咸興府大和町 中村時計店 電話二五番

咸興府錦町 野尻德治 電話四二〇番

咸興府本町 鹽入寫眞館 電話三〇番

咸興府軍營通 ツバメタクシー 電話三三番

咸南西湖津郵便所長 大平文治

咸南西湖津港 竹原健一郎 電話八番

咸興府旭町 朝鮮相互保健奉仕會本部

咸興府軍營通 芝田印刷所 電話一五三番

咸興府大和町 機械 工具 電機材料 福田商店 長電話七四二番

咸興府城町 高尾氷店 電話五〇二番

咸南三水郡好仁郵便所長 笹原伊右衛門

咸南下碣市 公醫 金昌漢

咸南長津邑內 早瀨信吉

咸南長津邑內 田原商店

咸鏡線新上驛前 北鮮產業合資會社 電話五

咸鏡線新上驛前 熊川健治郎

咸南三湖公立普通學校長 樫村貞次郎

咸鏡線新上鑛物檢查所 島田金二

咸鏡線定平驛前 定平旅館 小谷孝一

咸興府大和町 雜貨 御酒 野村與三郎 電話六六〇番

咸興府軍營通 植入 石田雜貨店 電話六二九番

咸興齒科醫師會 軍營通 池田齒科醫院 同 林齒科醫院 電話九二〇番 朝日町 咸興齒科醫院 東陽里 阿部齒科醫院 本町二 坂口齒科醫院 電話一〇二六番

咸南興南邑天機里 青葉幼稚園

端川公立尋常小學校 端川公立普通學校 端川公立補習學校

咸州郡 公立學校團

咸興府軍營通 梨木球造 電話四三六番

咸興府軍營通 印刷 板部忠兵衛 電話二四番

咸興營林署 職員一同

咸興府軍營通 松下松太郎 電話五四一番

咸興府會議員 木村重樹

咸興府大和町 常盤旅館 長電話三七番

咸興府大和町 陶器 銘茶 和波商店 電話三二八番

咸興辯護士會

咸興府盤龍台下 食料雜貨 古橋商店 電話四〇〇番

咸興府軍營通 書籍文具 永島充商店 電話三五八番

咸南興南邑本町二 醫師 三浦重安 電話一五〇番

咸南興南邑本町一丁目 公平誠醫院 公醫 李建承 電話五一番

咸南興南邑 太田靴店

咸南惠山警察署長 **田中傳次郎** 外職員一同

咸南好仁警察署長 **遊佐秋次郎** 外職員一同

咸興府公立學校團

咸興金曜會

大興電氣株式會社 咸興支店

咸南豊山官公署 職員一同

咸南 **洪原邑內圓卓會**

咸鏡南道廳 食堂員一同

世界の王道樂土へ
建國最初の新年を迎へて
希望に輝く滿洲國

「現實」は躍進する
大同二年の滿洲國

滿洲國が成立して以來十ケ月、日本の承認以來四ケ月、新國家は今や其の存立の第二年に入つて、大同二年をとなへる事となつた。此間所謂『侵略の成果を承認せず』とのスチムソン原則なるものが、幾度かの機會に於て繰返されゼネヴァの國際聯盟に於ても鳴り物入りの日支紛爭討議なるものが続けられた。其處では國際平和の高揚せられた精神が強論せられ平和擁護の機關としての國際聯盟規約ベリ不戰條約、或はワシントン九ケ國條約が熱心に支持せられた。然し軍閥の苛斂誅求と、匪賊の脅威から逃れて眞に生活の樂土を滿洲の地に建設しようとする三千萬民衆の生活への要求に深く根ざした『現實』としての滿洲國の生長は一日として止まる所がない。其れは同じく滿洲の地を國民的生活上の、更に又軍事的作戰上の生命線とする日本の理解と友情とに充ちた協力を得て徐々にではあるが、健全に自然發生的に、伸び上る。既に財政は確立せられ、幣制改革の遂行と共に全版圖に亘る治安確立の基礎は成り、着々として國家百般の政務と內容的施設は完備して行くのである。それは、日本帝國と大使を交換しソヴエート聯邦とは領事を交換し舊東北政權が諸外國の商社に負ふ所の債務を整理し支那に於て未だ曾つて見ざる高率なる市場價格を保持する紙幣を流通せしめ、正に堂々たる國家としての態容を着々として整備しつゝあるのである。見よ、ソヴエート聯邦は、日本と共に滿洲國と不可侵條約を締結すべき熱心なる希望を抱懷しつゝあり、諸外國も亦郵政に於て、領事事務に於て又商取引に於て現實に獨立國家としての態勢を爲しつゝあるではないか！

我々は最近スチムソン原則の本場である米國に於て、最も權威ある地理學協會として一般に認められてゐる所の有力なるナショナル・ジエオグラフイック・ソサイエテイ(全國地學協會)が發行した最新世界地圖に『滿洲國』なる國名が、しかも滿洲國の公式の綴字法に從つて堂々と記されてゐる事を見る時誠に『現實』は百の論議を超越するてふ平明な事實を知るのである

日本が屢々世界に向つて其の理性に訴へてゐる樣に滿洲國は誠に儼然たる現實でありしかも此の現實は過去十ケ月間に於て、否、過去四ケ月間に於て驚くべき飛躍を遂げた。そして現に飛躍を續けてゐるのだ

聯盟の鳴物入りお談議も 問題の解決には縁が遠い

滿洲國の現實的生活力と、其の飛躍的生長とは我々が現に驚異の眼を以て見つゝある通りである。而も之は一年半以前のまげられた現實と異るが故に國際現實の表面的表現である諸國際機構、例へば國際聯盟の如きものゝ上に反映するに當つて多少の混亂を伴ふのである。實際今日に於ける國際關係の表現方式が、歐洲大戰によつて持ち來られた現實の外的表現其物に外ならない爲めにこの現實自體に何等か實質的變改を來した場合にはその表現方式に動搖を來すことは最も自然な事柄である。而してこれ等の大戰後の世界現實を具現した外的方式の中心が國際聯盟であり、ワシントン九ケ國條約であり將又パリ不戰條約である以上、その根本の世界現實に變改が持ち來らされた以上國際聯盟が喧ましくなり九ケ國條約が引用され更に又不戰條約が云々されるとは敢て異とするに足りない所である。しかも問題は決して此種の外的表現方式を中心とする表玄關の折衝乃至應酬にあるのではなく、徹頭徹尾其の基本である『現實』の如何にかゝつてゐるのである。それ故に國際聯盟の鳴物入りの御談議もスチムソン原則の高唱も問題の解決には何等の實質的寄與を爲し得るものではない。一切は現實にかゝつてゐる。現實の壓力如何が全てを解決するであらう

米國の彈壓に 附和雷同した列國

我々はこゝで、變改された現實の壓力は擴らなければならない。滿洲國を如何に努力し、日本が如何に國際聯盟と列强とに向つて日本の公正なる立場を說明し滿洲國の現實を說いてもこの『現實』に實際的壓力が伴はなければ我々は滿洲國出現前の『舊現實』の壓力に、即ち國際聯盟の壓力に、或は九ケ國條約の壓力に壓倒し去られるであらう。而も我々は知つてゐる、滿洲國の出現によつて持ち來らされた新現實が滿洲國三千萬民衆の生活力と、八千萬日本民衆の生命線擁護への総意とによつて、何物も打ち克ち難い經濟力と世界政治的壓力とを內に包藏してゐることを。此の壓力は果して何處から生れて來たものであらうか。此に答ふる爲めに我々は先づ『舊現實』を探究して見よう

我々が今問題としてゐる『舊現實』は大體に於て支那を中心とする列國關係に要約することが出來るであらう。此の支那を中心とする『舊現實』を最も端的に具現したものは九ケ國條約である。それ故に『舊現實』に基いて滿洲國出現後の『新現實』を處理せんと焦る國際聯盟も九ケ國條約中に最大の役割を演ずる米國を是非共その處理の顔觸れの中に加へんと努力するのである

然らば九ケ國條約とはその實質に於て如何なるものであらうか？我々は歐洲大戰中に列國の手が、從つて又其の眼が、一時東洋から遠かつた際に於ける東洋の盟主としての日本の勢力確立を追想することが出來る。元來日本は東洋に於ける唯一の近代國家的存在であるにも拘らず、其の近代國家としての發達が比較的遅れた爲めに早くより東洋に向つて帝國主義的侵略の手を伸ばした西洋各國の勢力に對しては如何とも爲し難い恨があつた。然るに世界大戰は彼等の手と眼とを一時殆んど完全に東洋から遠ざけたのであるから茲に日本が東洋の盟主としてのその本來の面目に立返つて確乎たる勢力を扶植するに至つたことは寧ろ當然である。それは日本の國家的生長の爲めにも、否や國家的存在其物の爲めにも必須の事柄であつたのだ。

とはいへ歐洲大戰は終り、歐米各國の國家的壓力は再び東洋に向けられた。而も今度は歐洲大戰の爲めに日本にも數倍してその勢力を增大した米國が東洋の舞臺に出現したのである。我々が歐洲大戰中に貯へた實力は遺憾ながら東洋から彼等の力を一擊に反撥するまでには充分ではなかつた。斯くの如くにして出來上つたものがワシントン九ケ國條約である。其れ故にワシントン九ケ國條約は一面に於て巨大な米國の壓力を表現し他面必然的に日本の東洋に於ける全面的自制を表現してゐるのである。歐洲大戰の間隙を衝き列國は米國の壓力に附和して東洋に於ける日本の生長を抑壓しようと試みた。中にも最も九ケ國條約の現實を惡用逆施したものが支那である

力強く起ち上る 我々の生命力伸長

即ち支那はワシントン條約によつて表現せられた歐米列强の壓力殊に米國の壓力を極度に利用して我國が支那及び滿洲に於て有する所のあらゆる正當なる權益に不當なる壓迫を加へ損害を蒙らしめ、ボイコット、在支那人の生命財産に對する迫害、正當權益の行使妨害其他あらゆる不法を續けて來たのであるが、全てこれ等の不法が遂に發火點に達して突發したものが即ち滿洲事變でありその結果として自然發生的に生れた滿洲國の出現である。しかもこの時に當つては世界は未だかつて見ない深刻陰鬱なる經濟恐慌のドン底に沈淪し、彼のワシントン條約の立役者米國すらも千二百萬の大失業群を擁して正に昔日の勢威を有しない。其壓力の長鞭は東洋の馬腹に及ばずみで、國際聯盟に對してすら敢然其の日支問題の審議への協力を提供することを憚つてゐる有樣である。これこそ正に新しき現實の登場でなければならぬ。歐米各國の壓力は將に再び東洋から遠かつたのである。この新現實の上に力強く起ち上ることによつてのみ我々は東洋の唯一の實力ある國家としての生長を遂げ生命力を伸長し完全に國家的存在を全うすることが出來るのである。滿洲國の出現と其後の生長も亦此の新現實に出發する事象の一に過ぎない。それ故に事實に於ては滿洲國の出現が新現實ではなくして、既に存在する新現實に立脚して滿洲三千萬民衆の生命への希求が實現せられたもの、即ち滿洲國なのである。滿洲國現實的基礎は斯くの如く確乎として世界政治的根據に根付いてゐるのだ。

斯く見る時は國際聯盟の御談議もスチムソン原則の放送も總改された新現實の微動だもせぬ大地の上を掠める過去の幻でしかない。表玄關の折衝は常に現實に遅れてゐる。だが軈て現實に追隨するであらう。

如何に現實を 生かすべきか

斯くの如くにして我々と滿洲國とは正に何物よりも强い現實の大盤石の上にガッチリと腕を組み合つてゐる。然し乍ら苟くも舊き現實の殻を破つて茲に新しき現實への一步を踏み出し三千萬民衆の爲め新國家を確立すると共に我日本の生命線をして新なる基礎の堅固さを獲得せしめようとする限りに於て、其の事業たるや容易ならぬ大任務たるを失はない。今や滿洲國の治安は確立の初段階に入り其の財政の基礎は確定せられたとはいへ凡ゆる建設と完成とは全て今日以後にある。殊に其の經濟建設は最も難事業中の難事業たるを失はないであらう。

日本も亦多難の躍進の艱苦と困難とに直面してゐる。我々が進まんとする道は確乎たる新現實の上に立つものであるとはいへ『舊現實』の壓力も亦未だ完全に排除されたものでないことは云ふまでもない。其れ故に今後も尙凡ゆる方面に於て凡ゆる形式に於て我々に壓力が加へられやうとするであらう、其の最も大なるものは恐しく經濟的、財政的壓力であるに過ぎない。其れ故に我々は、徒らに樂觀を止め、言葉の眞實の意味に於ての『非常時』に處する牢乎たる決意の下に此の困難のあり得べき凡ゆる外的壓力に對抗し同時に又內部的艱難の壓力にも堪へる覺悟がなければならない。

此こそ我々が現に絶好の條件に惠まれてゐる所の新しき世界現實を生かす唯一の道である。

王道あるのみ
世界の戰禍を消して之を安居樂業の途に致すもの
滿洲國々務總理 鄭孝胥

當世列國用ゐて以て國民の思想を造成する所のもの豈に愛國を曰はざらんや、用ゐて以て國民の能事を發成する所のもの豈に軍事教育を曰はざらんや、各國其國民を練習する所以のもの唯だ人後に落ちんことを恐る、豈に知らんや愛國の宗旨は即ち仇外の對象たり軍國民の資格は即ち戰備の先驅たることをこれ習慣を建て、驕を驕るの策にして、世界の戰禍已に習慣の中に醞成され、因を種て果を得、治安を破壞し人類を殘滅するに至らざれば止まず、且つ軍力火器の技日進未だ已まず、軍機の精重殺の鉅曾往日に百千倍す。戰爭未だ決せず、而して人民死亡財用の耗竭已に立どころに見ける矣。王道は乃ち今日起死回生の良藥、世界の戰禍を消して之を安居樂業の途に致すもの也、果して王道を行はんとせば必ず先づ愛國の思想を廢滅ししかして博愛を以て、主となし必ず先づ軍國の教育を革除し、しかして禮義を以て先となす。

君子は位あるものゝ、禪己を修めるに敬を以てするは所謂脩慢那辟の氣、四體に設けざる也、己を修めて以て人を安んずるは所謂老者之を安んじ、朋友之を信じ、少者之を懷くる也、己を修めて以て百姓を安んずるは謂所禹天下溺るる者あればなほ己之を溺らすが如くなるを思ひ、稷天下飢る者あればなほ己之を飢やす如くなるを思ふ也、堯舜天下の任を以て己を責む故に禹稷と同意

子貢曰く如し博く民に施し而して能く衆を濟ふあらば如何、仁と謂ふべき乎、子曰く何ぞ仁を事とせん必ずや聖乎、堯舜すら其れ猶ほ諸を病めり、それ仁者は己立たんと欲して而して人を立て、己達せんと欲して人を達す、能く近く譬を取る、仁の方と謂ふべきなるのみ

ひろく施し衆を濟ふ、其功成り難し、これを人に求めばつひに止境なし、返つてしかして已に求むるに如かず、己立たんとして人を立て、達せんと欲して人を達すればすなはち小よりして大、近きよりして遠きに及ぶまで歩々實を踏み功成るを待たずして感應の効一日千里、此即ち踐履の實地、擴充の要術なり。

大舜は周より大なるあり、善人と同ふす、己を舍てゝ人に從ひ人に取て以て善を爲すを樂しむ耕稼陶漁より以て帝となるに至るまで人に取るにあらざるものなし、諸を人に取て以て善をなす、是人と善をなすもの也、故に君子人と善をなすより大なるはなし

舜は人を以て天子となり、己を舍てゝ人に從ふを以て行となす、故に天下之に服す、諸を人に取て以て善をなすに至つては即ち盡く人己の見を除く矣。

孟子曰く、人を愛して親まずんば其仁に反れ、人を治めて治まらずんば其智に反れ、人に禮して答へられずんば其敬に反れ、行ふて得ざるものがあれば皆反つて諸を己に求む、其身正ふして天下之に歸す。

行ふを得ざるものあり而して之を人に求む、此れ天下の常に亂るゝ所以、王道の行はれざる所以なり、諸を己に反求すれば則親ます治まらず答へられざるの故、顯然見易く感應の機影響より捷かなり、王道行はれ易き端に信ずべし矣。以上皆王道の要術人己の間に在るを證明す、大學一篇王道具體の學たり、宋の眞德秀著大學衍義の一書參考に備ふべし。

王道の學はこれを內聖外王の學と謂ふ、王道は至つて大なり、しかしてこれを大に求むる能はず、王道は至つて邇し、しかしてこれを邇きに求むる能はず、然らば即ち王道安くにある乎、今一言を以てこれを蔽へば曰く人已の間に在り此に在て彼に在ざる也。

子路君子を問ふ、子曰く己を修むるに敬を以てす。曰く斯の如きのみか、曰く己を修めて以て人を安んず。曰く斯の如きのみか、曰く己を修めて以て百姓を安んず堯舜すら其れ猶ほ諸を病めり

顏淵仁を問ふ、子曰く己に克て禮を復むを仁となす、一日己に克て禮を復めは天下仁に歸す、仁をなす己に由らんや

天下仁に歸するは乃ち王道の機則なり、其此れを致す所以のもの乃ち克己復禮に在り、人己感應の機

老拙王道己を修むるの學を編し、分つて四端となさんと欲す。曰く敬義、曰く敬讓、曰く戒傲、曰く戒貪、皆猶ほ未だ成らず

匪徒を收撫して 正業に就かせたい
民政部長 臧式毅

大同二年々頭にあたり、いさゝか所懐を述べ大方の御指導を仰ぎたい。建國匆々の非常時々代にはこれに處するに治安第一主義をもつてし平和的建設時代に入るにおよんでは產業の開發、民力の涵養に主力を傾注する。これ自然の大道である。殊に歸順匪徒を收撫しこれをして正業に就かしめ農村の荒廢を匡救するは第一の要緊事にして、完全にこれをおよぼし得るにおいてはこゝに滿洲國內政は第一步において成功せりといひ得べく、滿洲國の秩序はこれにより恢回し治安はこれにより確保され、產業の發達、富源の開發はこゝに源を出づ

融資誘導に 援助を望む
熙財政部總長

建國第一年の滿洲國は混亂の接收に、國內徵稅機關の改革整備に、大同元年度予次豫算の編成に頗る多忙を極めた。建國第二年において財政部の及すべき任務は稅收の增加による財政の整備、金融の統制並用による產業の振興等建設的事業の促進誘導にある。今や滿洲國內の治安は殆ど回復され漸次完璧の域に接近し投資上の不安は漸く除去されんとしてゐる。予は日本當局が特にこゝに意を致され融資の誘導に援助を賜はらんことをのぞむ

『全省皆匪』 良民の早變り

支那領域が廣く人口が多い點に於て世界に余り類を見ない支那の樣な國に於ては社會的にも自ら特異性を帶ぶる。名物土匪もその現れの一つである。支那の社會は少數の大地主、大商人を除けば大多數の貧民から成立つ。隨つて無職者遊人果ては浮浪人乞食など危險な分子が非常に多い一朝食へない事になれば土匪にでもなるより他に途はないのである戰禍が續き天災が頻發する時は忽ちにして多數の浮浪人を作る。又貪慾な官吏、橫暴な軍隊に虐げられて無一物となるものも亦多い。加ふるに敗殘兵や脫走兵が隨時隨所に生れる。之等は相率ゐ滔々として匪賊の世界に流れ込むのである。太平の時でさへも跡を絶たない土匪は近年の支那の右の如き狀態から益々殖える一方の經路を辿つて居る而かも彼等は社會の凰源となつて新たなる匪賊の製造に重大な役目を演じて居るのである

支那及び滿洲國を通じ土匪の總數が幾何に上るか、その算出は困難である、曾ては百萬乃至二百萬と推定した人もあるがそれさへ廣義に解釋するとによつて非常な差が生ずる、即ち專門の匪賊以外に平常の所謂良民にして機會ある每に全部落を擧げて匪賊團に變ずるものがあるからで、此の意味から全省皆匪と稱する言葉さへもある位だ、廣東省の如き見て海賊に變じない部落がないとさへいはれる、殊に現在滿洲國に於ては事變の結果として異常に多數の所謂潰軍なる兵匪が發生して居る。又中南支に於ては共產黨匪が益々猖獗する如き特殊現象を呈して居る

團體行動が 本來の特色

土匪の小なるものは何處でも見られる强盜剽盜と選ぶ所がないから之は別とするが、本來の特色は團體行動を爲す事に存する彼等は團體を組み村落部落を襲つて掠奪を爲し或は人質を拉して身代金を取る、大團體に至つてはその數、數萬に達するものもあり堂々と政府の討伐軍を破つたりする、信仰臭味を加へた祕密團體は土匪中でも殊に根强い樣だ山東の拳匪(團匪)河南の白狼匪滿洲の大刀會匪などがそれである、拳匪は卅餘年前排外暴動を起して空前の國際大問題を惹起し白狼匪は數年間に亘り政府の討伐軍を散々に惱まし、大刀會、紅槍會は最近には張作霖を手古摺らせ今亦我が軍に楯突いて居る事は人の知る通りである

巧く當れば 政府の大官

匪賊の本場と云はれる滿洲及び山東では特に集團土匪が多い、中にも傑出した人物が出れば周圍の群小を斬從へて次第に自己の大を圖り、遂には一地方或は一省を領有して封建の大名の如くになるに至る。この時には既に名實共に土匪の域を脫して政府の大官になり濟まし、却つて土匪を討伐したりなどして眞面目を裝ふのも滑稽である、山東滿洲出身の土匪頭目中には後に名を爲したものが甚だ多い、張作霖を筆頭に張作相、吳俊陞、張宗昌等がそれで何れも一省若くは數省の主となつた、殊に張作霖の如きは大元帥と稱して大中華民國政府の元首となつた事は實に異數の出世で近代にその比を見ない所だ、然らば現在の北支那の主人張學良及びその一派は之等馬賊の餘勢を擁してゐるものだといつてよい譯である、最近兵匪の大頭目として名を謳はれた馬占山もその出身は馬賊だと傳へられる馬の例にも見る如く、一度出世した馬賊で志を失へば再び昔戀しやの馬賊に還るものもある。之について手近に面白い實例がある。山東に劉黑七なる土匪大頭目あり一九二八年濟南事件に際し支那の爲めに活躍した功により國軍に取立てられ、部下の土匪は師に自分は師長に任ぜられ鄒何師長劉桂堂と銘打つて押しもおされもせぬ支那一流の武將となつた、然るにその後南北戰爭の餘波を蒙つて地盤を失ひ、近年部下の全部と共に再び劉黑七の山東土匪に還元したのである

新年詞
謝介石

浩浩滿洲屹居亞東、白山黑水鍾秀斯鍾、外界日俄內絡東蒙、金元以降決々大風、去歲仲春嚴然建國、軍閥縣除誰之力、如龍乘雲如鵬翰翼、熙皞威熙王猷允塞、星移物換時日新年、勵精圖治有開必光、斯正斯弼無黨無偏、建元大同厥義洪宣、願我人民生殖日習、願我同胞忠誠是倡、願我鄰邦交歡禮讓、萬歲三呼幸福無疆

人質に外人 身代金が高い

土匪が掠奪を行ひ人質を拉するに當り財物を目的とする故に相手の內外人たるを問はず顧慮する所なく遂行する、否却つて外人人質の價値高きを評價する、故に屢々國際問題を惹起する。支那の內地奧深く入込んで居る外人宣教師が屢々その犧牲となる、先年我が日清汽船の一船長が長江上流で人質となり四川雲南貴州を轉々する土匪の手から救出する迄に一年の歲月と多額の身代金を要した事もあつた。最近では營口郊外で拉致された若いポーレー夫人とコークラン氏の二英人は六週間土匪に監禁されたが我が軍の骨折で救出された事は尙世人の記憶に新たなる所である、然し國際關係の土匪事件中最もセンセーションを起させた實例は有名な臨城事件である。

臨城事件

一九二三年五月某日津浦線の北行急行列車が山東臨城附近に差かゝるや突如土匪のために襲擊された列車內には三十五名の外國人が乘合せて居たが內一名は射殺され妙齡の婦人を含む二十五名は拉致されて山寨に幽囚となつた、賊は之を人質に多額の身代金を要求し容易に解放しようとしないので在支外人は勿論世界的に大問題視されるに至つたのである、此の事件を惹起したのは孫美瑤と稱する白面年少の一頭目に過ぎなかつたが、斯うなると思ふ壺にはまつたと云はぬ許りに人質を押へて思ふ存分の身代金を取つた外、部下は旅に自分は旅長として政府軍に編入される事に迄成功した、併し此の爲に支那政府が外國側から巨額の賠償を取られた事は云ふまでもない、一方孫美瑤は更に野心を延ばさんと機を窺ふ間に僅かの隙に乘ぜられ政府軍の爲に騙し討にされその罪業は報いられ、事件は大團圓となつた

共匪の將來 討伐は不成功

共產黨及共產軍を匪と見なす事の當否は此處に論じない、併し支那の現支配者はこれを共匪と呼び最も恐るべき敵として取扱つて居るから、暫くこれに從ふ事にする、共產黨の創立は一九二〇年だから今日迄僅に十二年の歲月を經たに過ぎない、一時政權の把持者國民黨と提携した事もあるが大概は兩立せざる敵として苦鬪を續けて來たものとすれば今日の發達は正に驚嘆すべきものである現在共產黨は十數萬の黨員と二十萬乃至三十萬の軍隊を擁し、數百萬乃至數千萬の貧農勞働者を味方として居ると自稱して居る。蔣介石は此の恐るべき敵の絶滅を期し前四回に亘り數十萬の軍隊を動員して討伐に從ひその都度大成功を誇稱したが依然として所謂共匪の衰へざるを見れば討伐は結局失敗に終つたのである、共產黨は江西の瑞金に首都を定め ソヴエート區域は江西、福建、廣東、湖南、湖北、河南、安徽の各省に亘つて居る、在來の匪賊と異る特色は極めて組織立つて居り中心人物の指導がなくとも組織そのものゝ威力により益々擴大强化しつゝある事である。蔣介石が認めて大敵となすは眞に理由のある事である、支那の所謂共匪の將來こそは最も注目に値する問題であらう。

謹賀新年

京城南米倉町官舍 山田眞一 電話本局八六〇・二〇三〇番

京城府南大門通二丁目 日本生命ビル 京城窯業株式會社 電話本局三三三・一六〇番

京城府本町一丁目 黑川精肉店 電話本局九六四

京城府南大門通り三 カフエー富士 電話本局三六二四

京城府南大門通二 延喜食堂 電話本局三九八三

京城府本町二丁目 木島時計店 電話本局一三九

ミルク・ブランド 精乳舍 京城府本町二丁目 電話本局三二二番

京城府蓬萊町 朝鮮煙草興業會社 電話本局八〇四番

京城府本町二 造花 むすめや 電話本局四一四

京城本町一丁目 室內裝飾品 西洋家具 敷物 金庫及陳列棚 橫山商店 電本一六七番

中村繁作 京城府竹添町三

株式會社 柴田組 京城府竹添町

淺野スレート販賣株式會社 京城出張所

盛陽社

京城公立中等學校長會

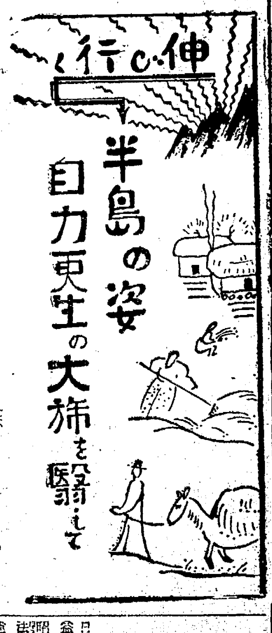
水銀、青酸加里 鑛山用藥品一切卸賣問屋 阿部藥房卸部 京城本町三丁目 電本四八七番

京城倉庫金融株式會社

京城黃金町二丁目 煖房水道 衛生工事 設計施工 東口商店 電本一八三五・二二一〇番

京城黃金町二 三榮商會 電本一二六五番 二二四四番

京城中央電話局一同



法務

民風頽廢を戒めたい

犯罪防止の爲めに

法務局長　笠井健太郎

茲に昭和九年の新春を迎へ聖壽の無窮 皇室の御繁榮を慶祝し奉り國民擧つて聖澤を謳歌する事を得るのは洵に歡喜の極みである、客月公布せられた

朝鮮小作調停令 は近く實施せらるゝことゝ思ふ、最近五年間に發生したる小作爭議は約三千七百件に達し漸次社會的重要性的色彩を帶び關係土地の面積及當事者の數を増大せんとする傾向を示し、その解決如何によりて一般農村の不安及耕地の荒廢を醸し、延いて農村の自治或は國民の思想及教育等の各方面に支障を生ぜしむべきは今更架說を要しない所で、同令はこれが對策の一手段として生れたもので同令に定むる調停制度は司法機關が、介入するとはいへ、訴訟とは全然趣を異にし國民が私法上の爭議を自治的に處理解決することを眼目とし、究極の目的は農業の發達と農村の安定とを期せんとする一施設で、朝鮮に於ては全く創始のものである

尤も從前より民事訴訟調停に關する制令が施行せられてゐるが右の調停は單純なる和解の趣旨であつて眞の調停ではなし所謂調停制度は本令に依りて始めて呱々の聲を揚げ發足の姿を見せたのである。然し本制度實施の爲裁判所に補充せられたる職員數は極めて僅少に過ぎず、而も一般司法事務は倍々多端を示し調停事件を專ら處理せしむる餘剩力がないのであつて、本制度を健全に發達せしめんとするには裁判所職員各位の犧牲的努力の必要であるとはいふ迄もない一面に於て裁判所外における勸解等の補助的事務が最も圓滑に行はるゝを期し勸解を命ぜられたる官公吏及び民間有識者の方々が關係職員と協調を保ちて理解ある獻身的御援助を與へらるゝに非ざれば到底目的を達することを得ないのである。希くば朝野各位の熱誠なる御助力に依りて事件毎に何人をも滿足せしむる公正妥當なる調停の成立を見、以て農村の振興と平和とを齎らさんことを切望する次第である。次に

刑事事件を顧る に、文化の發展人智の進歩に伴ふて常に犯罪の手法が巧妙化されて行くことは已むを得ぬことゝはいへ、その數に於ても亦逐年遞增の傾向著しいとは深憂に堪へない現象である、昭和七年中檢事の受理した犯罪總數は件數約十三萬、人員十九萬數千人、其の內刑法犯約八萬件、人員十三萬數千人、特別法犯約五萬件人員約六萬人で强竊盜、詐欺、橫領、傷害といふ樣な事件が其の內最も多數を占めて居るのである

是等一般の犯罪の原因は何處に在るかといふに、近時殊に經濟恐慌に基く生活不安が其の一因であることも否定出來ぬが、本來犯罪は常に社會の病的現象であつて、確固たる社會道義心のある者に於ては財界の不況も生活困難も常に必ずしも直ちに犯罪行爲に誘引するものでない事は最も注意を要すべき事柄であると考へる、一般的犯罪の素因を爲す人心の萎靡、質實剛健なる民風の頽廢は實に戒心せねばならぬ事であり、義に人心作興、自力更生を以て現下社會情勢匡救の根本義であるとされ朝鮮統治上の大精神の如きは實に是を犯罪防止の方面より觀察するも極めて有意義の事であると信ずる

思想方面の犯罪 を觀るに、今日迄猶思想に基因する犯行は依然益々多からんとする傾向にあり、昭和七年の治安維持法、保安法、暴力行爲等處罰に關する法律違反等の犯罪は件數約六百件、人員約千人といふ數を示してゐる。本來極左思想に基く犯罪は露西亞の共產革命以來勃興したマルクス、エンゲルス近くはレエン一派の理論に眩惑刺戟され、國憲を無視して衝動的犯行を敢てするもので、極の半面觀を基礎として人生の全貌を識らず、是に依て現社會の安秩を妨害せんと試みるは洵に痛嘆に堪へぬ次第である

而して社會秩序の根本を攪亂せんとする之等極端なる徒輩に對しては斷乎として國法の威信を以て臨まねばならぬこと勿論であるが、一面又一般社會人は社會人として相戒め且つこれ等邪道に陷り、又は陷らんとする者を救援誘導し、その誤れる思想轉換に資する爲に最大の努力を拂ふに吝ならざる自覺を持つて戴かねばならぬと思ふ抑今日の社會公共施設又は國家施設としても思想善導機關、思想犯罪者の教化救濟機關と云ふ樣なものが甚だ不十分で、殆んど其の見るべきものがないといふ事は頗る遺憾に堪へぬ次第で、此の點については特に大方の御留意を煩したいと思ふのである

自力更生

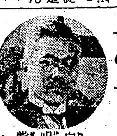
壬申冬　峯水

齋藤首相試筆

遞信

社會公共の爲に一踏張り

遞信局長　山本犀藏



民心作興、自力更生の高唱せられた非常時昭和七年を送つて、茲に昭和第八の新春を迎へることゝなつた。本年にも增して民心の緊張を要するや論を俟たないと思ふ我々は偏に此の非常時に際會せるの覺悟を以て、專ら社會公共の爲に力をつくすことを覺悟しなければならぬ

◇　◇　◇

昭和七年中における遞信事業方面の主要なる事項としては、日ソ小包直接交換の開始、市內外集配整備、內鮮連絡電話の完成、國際電信及無線電信會議への參加、日滿連絡航空郵便制度の開始並に大阪滿洲間無線連絡等を擧げることが出來る。

◇　◇　◇

朝鮮に於ける主要都市及其の近郊地の發展は近來特に著しいものがあり、市外地に於ても通信力は逐年增進の一路を辿つて居るのに鑑み、郵便集配上の萬全を期するため昨年中に於て全鮮を通じて二百二十一局所の郵便集配施設の整備計畫を實施した

◇　◇　◇

內鮮連絡電話の開設は、是亦數年來の懸案であつたが幸にして遞信省當局の新なる試として茲に從來存する釜山下關間の海底電信線を撤去式回線に改裝し且一面に電信電話法をも變更することゝ爲り、此の外に當初よりの計畫たる釜山嚴原間の海底電話線の敷設も本年度內には遞信省の手に依つて着手せられる豫定、其の竣成に依り既設の下關嚴原間の海底電話線と相俟て豫定計畫の內鮮主要都市を連絡する所謂內鮮連絡電話網が完成せられる譯である

◇　◇　◇

日滿連絡航空郵便制度開設の機運は滿洲國成立以來萌して居たが、昭和七年十一月三日滿洲航空株式會社に依り滿洲國內に航空路が開拓せられたので、日本航空輸送株式會社の航空機に依る東京大連線と、滿洲航空株式會社の航空機及軍用機に依る新義州齊々哈爾線とは新義州に於て連絡し、更に幹線の外兩國に於ける支線の連絡を見るに至つた。

◇　◇　◇

滿洲國の獨立と最近に於ける北鮮地方の開發とは、相俟つて北鮮對內地の關係を緊密ならしめ電報の如きも漸次增加しつゝあるが、清津無線電信局の設備に改善を加へ昭和七年九月二十日から同局と大阪無線電信局との間に無線連絡を開始し、從來に於ける兩地間の電報所要時間平均六十一分を平均三十分に短縮し現在に於ては一日約四百五十通を疏通して居る

◇　◇　◇

朝鮮に於ける簡易生命保險は豫想以上に順調なる發達を續けて居る、此の簡易生命保險の積立金が昭和六年度分の計算に於て四百四十萬圓に達した、而して此の積立金の運用に關する諮問事項を了し、其の關係法令が昨年二月に發布されたので、之と同時に朝鮮簡易生命保險事業諮問委員會に積立金の運用に關する諮問を爲し、其の答申に基いて昨年から之が運用に着手したのである、先づ其の內百萬圓を以て北鮮開發の爲に發行せられる國債を引受け、殘三百四十萬圓を地方公共團體を通じて各種の公益事業に放資する見込である

現在鮮內電氣事業數は八十九、其の公稱資本金二千二百萬圓、發電力四十六萬キロワットと爲つて居るので、新なる制度の必要を認め

（イ）電力統制の目的の達成を圖ること

（ロ）事業の普及發達に伴つて其の公共性が益々顯著と爲り他面統制方針の確立に依つて事業者の獨占的地位が從來よりも强固と爲るので、之に基因して生ずる虞のある弊害を除去し事業の運營を公益に副はしめるやう監督の徹底を期すること

（ハ）朝鮮の電氣事業は最近著しい發達を見たとはいへ尚將來の發達に俟つべきものが少くないから、之が保護助長の途をも講ずること

等を主眼として朝鮮電氣事業令の立案審議に力を效し昨年二月制令として之が發布を見た目下之が施行細則に付審議中であるが遠からず之が實施の準備を完了し實施日が告示せらるることに爲ると思ふ

なほ電氣事業統制の第一步として發電による技術的方面よりの統制、會社の合併等に依る資本方面よりの統制に付ても着々其の實現を圖り自然料金等の値下に付ても一般の期待に副ひ得ることに努力して來たのである

◇　◇　◇

海事行政に付ては、先づ昨年中に於て船舶關係にメートル制を施行したことを擧げることが出來る。所謂終端港問題も決定し之に基き對內地特に對裏日本方面との連絡施設を必要とし、其の連絡港問題に關聯し命令航路開始更改等の計畫を要すること と爲つたので、當局としては、各種の事項を調査考究して其の方針を樹立したのである

◇　◇　◇

內鮮滿連絡定期航空の實施は、滿洲事變後此の航空路は一層其の重要性を增したので、該定期航空の東京大連線を新義州に寄航せしめることゝして新義州に飛行場を設置した

◇　◇　◇

放送無線電話聽取者數は最近漸次增加して昨年末には約一萬八千餘に達したのであるが、朝鮮の面積及人口から見て其の普及は尙甚だ稀薄であり、內地の現狀と比較して其の間に著しい懸隔のあるのは遺憾の次第である朝鮮放送協會にても此の點を考慮し更に放送無線電話の社會教化上將又國防上等に於ける重大使命に鑑み鋭意之が普及發達を圖つて居るのであるが昭和七年に至り非常の決心を以て多大の犧牲を覺悟して十キロ二重放送の計畫を樹て其設備が着々進行し其の開始もさう遠くない

遞信事業の各部面に付ては上述の外尚施設改善を要する項目は尠からずある。併し行政財政整理の後を受けた昨年に於ては緊縮せられたる豫算を以て出來得る限り效果的な施設を爲すことに努めるの外はなかつたのであるが本年においては目下要求中の新規事項に關する豫算が通過すればこれに邁進すべくその以外に於ても本年同出來得るだけの研究工夫を積んで施設の改善を目論み以て朝鮮の文化の進展に貢獻したいと思つてゐる

專賣

事業經營に一心協和

重責の負荷に應へたい

專賣局長　菊山嘉男

仰げば昭和の聖運益々丕に稜威維れ崇く洽然として六合に洽きを見ますことは洵に八千萬民草の誠懽誠喜して已まざる處でありまして殷賑棚引く半島の山河亦瑞色の一段なるを感ずる次第であります、謹みて惟みるに我帝國の國運は、明治大帝の叡に世界の平和に確々たらせられ、友邦の交誼に偲々としたまひ、以來今に一貫して遂る所ないのであります。而も輓近不幸にして國際政局の動向は明日を豫斷し難き事態にあることを遺憾とする次第でありますが、惟ふに帝國の公明なる態措は斷じて遺憾の誤想を郷き各般の障碍を排して

國運進展の 鄕路を裕如たらしむるであらうことを信じて疑はないと同時に東亞の平和を擔任する帝國の使命は斯くしていよく重きを加へ行くことを覺悟せねばならぬのであります

久しきに亘りての經濟界の推移は今尙依然として好轉を許さない狀勢にありますとき、不肖測らずも專賣局長に承けましたが、經驗の乏しき內心甚だ慙愧の念に堪へないものがありますが、一度命を拜しました以上、外は一般各位の御指導御鞭撻に依り、內は全局職員の一心協和の御助力に俟ちまして、事業經營の方面におきましては現下の狀勢に鑑み一層の研究的地步を進め、生產方面に於ては益々耕作の改良指導の徹底を期し

收益の增加 を計り、鞏固なる生產地盤を造成致しまして製品方面に於ては使用機械の更新及工場設備の充實改善に鋭意し、販賣方面に於ては經費の節減を圖ると同時に、需要者の動向を察して嗜好の十全を期すべく希求致して居る次第であります、又諸般世態の推移は國民の自力更生による難局打開、新興日本の建設を目指しての一大運動が全國的に生起され、我朝鮮におきましても御承知の如く客年十一月十日を期し全鮮的に國民精神作興に關する詔書捧讀式が擧行されると同時に、時局に處する總督よりの聲明書が發せられ、同日を起點として五日間に亘り

內鮮官民の 一致協同に依り民力涵養、民風振作に關する一大運動が實施された次第であります、時代は正に全國民あげての自力更生を希求すること今日より甚しきはないと信ずる次第であります

仍て我々は深く思を時相の動きに照しまして、朝鮮に於ける專賣事業が其の實質に於て朝鮮產業界に於ける一大企業であり、その消長は統治の全面に重要なる關係を有して居り、就中國庫收入上、社會政策上、產業政策上、相互的に關係する所頗る甚大なるものあるに想到致しまして、事業の經營に就ては、益々一心協和の實を擧げまして敢て重責の負荷に應へんことを庶幾して居る次第であります

特殊のブロックと國民の一大決意

日滿統制經濟論

經濟學博士　木村增太郎

第一の問題は　利害關係の統一

日本の經濟は、今や、極度に困難な狀態に置かれてゐる。資本主義日本國民經濟が、根本に於て人口の過剩と資源の缺乏とに由來する內在的原因によるほかに、世界大戰の影響による極端な生產過剩、急激な通貨の偏在、激烈な關稅戰爭の展開等に基く世界恐慌の波動を受けて、今や殆んど行詰りの境地に陷らうとしてゐることは掩ふことの出來ない眼前の事實である、從つて滿蒙における時局の劃期的變革に際して、こゝに日滿兩國の經濟關係を調和し、以て我國經濟の更生方策を講ずるといふことは、最も緊要重大の事業と謂はなければならぬ

然しこの問題は、その關係するところが頗る廣汎且つ複雜であるがために、その解決は極めて困難なるを免れない。即ち、我國の國民經濟は、現代世界經濟の一經濟單位として、纒つた一つの產業組織を形成してゐるがため、生產費の低廉な滿蒙の物資を無制限に我國に輸入しようとすれば、勢ひ我國における該資源の生產部門に大なる衝擊を與へるであらうし又場合によつては、我國に於ける企業の一部的崩壞、企業家の倒產、從業員の失業等と言つたやうな重大結果を惹き起す危險を伴ふであらう。斯る危險の存在することは、既に苦い經驗を嘗めさせられてゐるところである

斯くて滿蒙の資源を充分に開發活用して、我が工業原料の原價を低下せしめ、國民の生活費を低減し、且つ世界市場における日本商品の競爭力を增大せしめんとする理想を實現するために、滿蒙からの低廉な資源の輸入とこれに對立する內地企業との利害關係を如何にして調節せしむべきか、といふことが、先づ第一に問題とならなければならぬ

この問題の解決は、滿洲國承認を終へた現在に於ては緊急を要するものであつて、事實、最近に至つて、多くの論者によつて採り上げられ、又政府當局、資本家、學者等の會合の席上に於て、屢々協議されてゐるのである

滿洲國の發達へ　支那の覺醒と

我國の滿蒙經濟に關しては、現に資業家の多くは「滿蒙は飽くまでも我國に對する原始產業品の供給地たらしむべきである、即ち、我國工業原料の培養地たらしむべきである」と主張する、然し、假りに斯る政策を以て滿洲に臨むとしても、この問題を解決することは、現在の我國の產業を根本的に轉換せしむることなくしては全く不可能である、と言はざるを得ないのであつて、このことは既に無煙炭の輸入を制限しなければならぬといふ問題が發生してゐるのに見ても明らかである、資本主義日本國民經濟が既に行詰らうとしてゐるのであるから、これを更生せしめんがためにこそ、滿蒙經濟が論究されるのである

又我國が、過去に於て多大の犧牲を拂ひ、又現に拂ひつゝあるのも、要するに之によつて滿蒙をして我國民生活の生命線たらしめんがために他ならないと云ふことは、言ふまでもない、して見れば、滿蒙經濟の根本方策は飽くまでも、之によつて行詰れる我國民經濟を更生せしめると云ふことに出發しなければならぬ。然しそれと同時に、我國として特に考慮しなければならぬことは、我國と極めて密接不離の關係を有する新たな支那が滿洲に於て成立したからといつて支那と永久に反目するやうな政策を採ることは極力之を避けなければならぬ、といふことである。我國民は、今後の我が對滿政策の結果、若し支那四億の民心を失ふやうなことがあるならば、それはやがては滿洲三千萬の民心をも失ふことになるものと、覺悟しなければならぬ。從つて、我國が滿洲國の健全な發達を助育することは、啻に滿洲三千萬民衆の生活を幸福ならしめるばかりでなく、ひいては、支那四億の民衆に大なる衝動を與へ、彼等を自覺せしめることである。故に我國は、支那自體に近代的國家が建設せられる動機ともなるやうに政策の根本を確立しなければならぬ。そしてそのためには、徒らに日本だけの利益を圖ることは止めて、所謂日滿兩國の共存共榮を主眼として出發することが、必要でもあり、又最も賢明でもある

經濟の單一化　特殊のブロック

斯の如く我が國の對滿經濟政策の基調が日滿經濟關係を單一化することによつて我が國民經濟を更生せしめることに在り、兩國の共存共榮を計ることに在るとするならば、徒らに滿洲國を植民地化せんとするが如き政策を以て進むことは正しくないと同時にあくまでも日滿經濟に或る程度の統制を加へ、その間に特殊な經濟ブロックを建設することが必要とならざるを得ない。換言すれば、兩國の經濟を一單位として、最も生產費の安くあがる產業を、兩國で夫々發展せしめてゆくといふことが必要となるのであつて高いコストの生產品を、日本國民なり滿洲國民なりに强制的に消費せしめるといふことは、共存共榮の實を擧げる所以でないことは、論を俟たないのである

且又、如何に我國が滿洲國をして單なる原料供給國たらしめ、これを植民地化せんとしたところで滿洲國自體の自然的、社會的、經濟的條件に適應した產業は、自ら發達するのが經濟自然の天則であつて、人爲的にこれを阻止しようとするが如き政策は、決して永續し得るものではない、又、斯る有利な事業の發達を阻止して、强ひていつまでも高價な日本品の消費を滿洲國民に强制するとは、決して三千萬の民心を收攬する所以ではない。もとより、滿洲國に於て極端な保護關稅政策を行つて工業を發展せしめるといふが如きことは、滿洲國自體のために必ずしも利益であるとは言へないが、上述のやうな滿洲國の自然的、社會的經濟的條件に適應した產業は、これを自然の發達に、委すべきである。尤も斯くして滿洲に、低廉な生產費を以て生產せらるる產業が發達すると、勢ひその中には日本の既存產業と正面衝突を來すものも現れてくる のであつて、之は已むを得ないことであるが、この狀態に對して漸次日本の產業を轉換させてゆくところに、我が國民經濟の更生が存するのである滿洲における產業の發達を抑壓して、徒らに生產費の高價な我國產業の延命策を講ずることは、全く滿洲經營の意義に反するものといはなければならぬ。ここに日滿經濟統制の必要が起つてくる所以が存するのである

關稅同盟の要　最も理想的政策

日滿經濟を單一化し此處に一つの經濟ブロックを建設するためには、兩國間には關稅同盟を結成することが理想的の政策である。元來關稅同盟なるものは、兩國が對外關稅政策上一國となるものであるが、從來强大國が弱小國を經濟的に併合し、或いで兩國となさうとする前提として行はれるものであると歷史的に見做されてゐるから、之を日滿兩國間に實現することは、現下の國際情勢から見て、殆んど不可能と言つて良い、從つて兩國間に特惠關稅協定を結ぶほかはない。然し之とても滿洲國が門戶解放、機會均等主義を嚴守する以上は、特に日本からの輸入品だけに限つて特惠關稅率を適用することは困難である。即ち、各國が滿洲國を承認するに至れば、勢ひ最惠國條款の適用を認め、諸外國からの輸入品に對しても、我國と同樣の稅率を課せざるを得ないことゝなる。尤も、たとへ諸外國が之に均霑するとしても、我國と諸外國との各輸入品の間には、大體に於て品種の上の相違があるばかりでなく、地利的その他の條件に於て、我國の方が遙かに優れた地位にあるのであるから、必ずしも之が大きな障碍となるものとは思はれない。然し我國に於て、滿洲國からの輸入品に與へた特惠關稅が、直ちに諸外國への輸入品にも適用されるに於ては、我國の產業は之によつて重大な脅威を受けることゝならざるを得ない。而も我國が各國に對して締結せる通商條約は、原則上多くは最惠國條款の適用を認めてゐるものであるから、獨り滿洲國の生產品に對してのみ特惠關稅を適用することは困難となるといふ懸念がある。然し元來、最惠國條款の解釋に關しては、無條件均霑主義と條件付主義との二つの異つた方針がある、論者によつては現代の國際的通念よりして、一般に無條件主義が原則たるべきものであると主張してゐるが、然しそれかと言つて無條件主義が既に國際公法上の原則と確立せられてゐるわけではなく、從つて又之に違反した行爲をなしたからといつて、それを以て直ちに國際法違反と言ふことは出來ない。實際上に於ては之は結局、外交によつて解決せらるべき問題である。それに又、斯る關稅協定が成立し得ないにしても、滿洲で生產された我國輸入品に對して、一定の補助金を與へると云つたやうな方法によつて、之を保護する方法もないではない。故に兩國間に特殊の協定が出來ないからといつて、日滿經濟の統制が不可能であるとは斷じて言へないのである

絕對的に必要　國民の一大決意

何れにしても、我國が滿洲に對して過去に於て拂ひつゝあり、將來も引續いて拂はんとしてゐる犧牲は、我國にとつてあまりにも大である。それに事變以來我が國民階級の凡ゆる層から湧き出てゐる熾烈な滿蒙熱なるものは、結局、滿蒙經營によつてこの行詰りに直面してゐる國民生活を打開し、滿蒙に向つて我が國民生活上の生命線を延長せんことを熱求してゐるものにほかならないのである。從つてこの大なる犧牲を活かし、國民大衆の要求に應ずるためには、徒らに既存產業の延命策のみに捉はれないで、この機會に日本資本主義の一大轉換をはかり、一大修正を施すことが、必要である。それには既存產業の擁護にのみ狂奔する資本家だけに委すことは許されないのであつて、矢張り或る程度の國家權力の發動によつて日滿經濟を統制し、こゝに特殊の經濟ブロックを建設することが何よりも必要である。然しこの大業を達成するためには、對外的にも對內的にも國民の一大決意を要するものであつて國家百年の大計を建てるために擧國一致することが、絕對に必要であると謂はなければならない

ジャヴァの原野鷄　昌慶苑動物園にて

龍山驛前　盛文堂龍山支店　加藤五市　電話龍山四一四番

山口洋服店　京城府漢江通十一　電話龍山七八〇番

橫濱生命朝鮮支店　京城府旭町二丁目　電話本局四五一五番

食堂園

明月館

御料理　松金　京城府本町二ノ三八　電話本局六八六番

賀正

染料香料　東華洋行　京城府花園町九七　電話三九九二番

北內紙店　京城本町一丁目五一　電話本局八五四　一一五二番

大倉洋紙店大阪支店　京城出張所　京城府南大門通二の一三七　電話本局四九〇番

貴金屬　土橋金光堂　京城府本町二丁目　電話本局一五二一番

壽し久　京城府本町二丁目　電話本局一九一〇番

杵屋號　京城府本町二丁目　電話本局（長）二三四番

岩見製綿

まるや京染店　京城府明治町二丁目七一　電話本局六六〇番

興業無盡株式會社

龍山醫師會

朝鮮書籍印刷株式會社

京城府古市町一九　青木商會　電話本局三五六六番

龍山驛前　東亞蠶絲株式會社　電話龍山一三五番

荒井組

彌生町遊廓組合

共立無盡合資會社

京城府古市町四三　川崎鐵網工場　京城出張所　電話本局二五五七番

京城穀物商組合

京城府元町一丁目　クームヒン株式會社　電話龍山三七〇番

京城府岡崎町　龍山精米所　電話龍山三六番

京城府漢江通三番地　株式會社弘中商會　取締役社長　弘中良一

謹賀新年

仁川新町 文房具 運動具 野田紙店 電話四四番

仁川宮町 青島茶舖 電話七〇九番

仁川新町三 仁川葬儀社 電話八一九番

仁川本町 洋燈 硝子 八木與一商店 電話五二四番

仁川府議 石橋恒太郎

仁川支那町 石炭商 田邊寛一商店 電話八一九番

仁川宮町 便利社 漁野五郎商店 電話一二〇番

仁川龍岡二〇一 張錫佑

仁川本町 仁川氷貯藏組合 電話四一一番

仁川本町 洋雜貨 銃砲火藥 藤木商店 電話四一番

仁川敷島町一四 隱塚種苗場 電話一七三番

仁川本町 御菓子 龍榮堂 電話一五五番

仁川宮町 菓子商 松浦元三商店 電話五六九番

仁川神社 磯野勝見

仁川仲町 日下部商店 電話五一四番

仁川仲町二丁目 鈴木硝子店 電話九一四番

仁川宮町 穀物商 村上貞市商店 電話六二三番

上仁川驛長 李祖榮

仁川本町 海産物商 平山初次 電話一五三番

仁川宮町八 福岡藥局 電話三一九番

仁川仲町二丁目 中川鐵工所 電話五八四番

仁川仲町二丁目 穀物 輸出 澁谷商會 電話三五四番

仁川宮町 眼科耳鼻咽喉科 岩永醫院 電話一〇二番

仁川 岩崎政介 電話四五五番

仁川商工會議所議員 今井嘉三 電話八〇九番

仁川本町 北京料理 中華樓 電話九四五一 七五番

仁川本町 酒 千鳥正宗支店 電話三五九番

仁川府濱町三一 精米業 劉君星 電話四八二 一七六番

木材商 丸二商會 營業所 仁川府濱町三四 電話長五一〇番 工場 仁川港町七丁目 電話長九二八番

仁川濱町 材木商 安藤熊市郎 電話七一八番

仁川新町 佐藤内科醫院 電話六六三番

仁川港町 海陸運送 三榮組 電話四七三番

仁川新町 食料雜貨 中村嘉本店

仁川宮町 西洋料理 東洋軒 電話五一九番

仁川本町四ノ一 穀物肥料 福島邦一商店 電話一〇一四番

仁川本町 藥種商 星光商會 電話一一一番

仁川 府會議員 吉木善介

仁川本町三六 芝モト 電話四一八番

仁川宮町 磯永洋服店 電話一二五番

仁川萬石町 請負業 天野秀一 電話一〇三番

仁川龍里 仁川信用組合 電話七一六番

朝鮮燐寸會社 鬼頭虎三 仁川金谷里

仁川支那町 森信汽船株式會社 電話長一二二番 一六二番

仁川府濱町 クケヤ鐵工所 電話六五八番

仁川本町 仁川汽船株式會社 電話五一番

仁川本町 綿糸布商 平野商店 電話九七二番

愛敬石鹸、マルイク石鹸 愛敬煙燭 製造元 愛敬社 仁川松坂町二丁目 電話三五八番 四二四番

精製鹽 朝鮮鹽業株式會社 電話七七八番

仁川宮町 ゴム白工作所 電話九八二番

仁川府内里 染料 朝日洋行 電話六六番

仁川税關沿岸貨物 地帯使用組合

遞信局海事出張所 所長 大賀文喜 仁川支那町

仁川商工會議所 理事 濱井定

仁川本町三 米雜穀 土居喜七商店 電話六七三番

仁川港町四 勸業所 電話二三七番 三五三番

仁川海岸町 株式會社 朝鮮取引所 仁川支店

仁川宮町通 梶谷靜風寫眞館 電話八八一番

仁川本町 運送 回漕 福島組 電話長五三五番

仁川本町 精米業 杉野榮八 電話一〇二一・八五八・六九三

仁川本町 共益社 仁川出張所 電話一八六番 四三〇番

仁川市外長意里 活牛移出 谷本茂三郎 電話七五三番

仁川精米業組合（イロハ順）
- 仁川府濱町（電話長六四三） 仝 馬場精米所
- 仁川府濱町（電話長三二五） 天 朝鮮精米株式會社仁川支店
- 仁川府花町（電話長六〇八） 株式會社 奥田精米所
- 仁川府宮町（電話長五五〇） 株式會社 加藤精米所
- 仁川府花房町（電話長六九番） 辻川精米所
- 仁川府萬石町（電話長九二二） 直野精米所
- 仁川府萬石町（電話長八五〇） 有馬精米所

仁川濱町 力武物産株式會社 電話長一七番 同三五八番 同七〇一番

仁川府宮町 京城電氣株式會社 仁川支店 電話二四番・二二四番

鮮航同盟會仁川支部
- 日鮮海運株式會社
- 朝鮮郵船株式會社仁川出張所
- 大阪商船株式會社仁川支店
- 高杉商店回漕部
- 慶田組
- 國際通運株式會社仁川支店
- 朝日組回漕部
- 協同海運商會
- 嶋谷汽船株式會社仁川出張所

仁川府新町 ミナト自動車部 電話六〇五番

朝鮮海事會仁川支部 船舶給水部 部長 太田忍

仁川仲町 和洋雜貨 食料品 南方商店 電話長一六六番

仁川外里 雜貨 食料品 玉植商店 電話六五一番

朝鮮燐寸株式會社 仁川松林里

仁川本町 天辰歯科醫院 電話九六八番

仁川新町 府會議員 代田繁治

朝鮮米穀倉庫株式會社 仁川支店長 高橋俊忠

仁川府賃商組合

仁川港町一丁目 仁川沿岸汽船組合 理事 清田三郎

仁川港町五九 穀物商 波佐間浩造 電話一六三番 三〇九番

朝鮮總督府穀物検査所 仁川支所 支所長 上山雄次郎

京畿道立 仁川醫院 職員一同

仁川税關貨物取扱組合

仁川港町 京畿道水産會

仁川府山手町 能治歯科醫院 電話三五〇番

仁川 府會議員 加來次夫

仁川山手町 水先案内 島崎彦次郎

仁川觀測所長 後藤一郎 電話二二三番

仁川海岸町三ノ一 回漕、運送 通關 木村組 電話三一番

仁川新町 牧瀬産婦人科外科病院 電話四八五番

仁川山手町 會席御料理 銀水 電話一二二番

仁川仲町 運送業 大和組 電話長五三八番

仁川府花房町 王成鴻

仁川教育會

仁川府外長意里 仁川窯業株式會社 電話四一二番

仁川濱町 菊池醫院 電話九一〇番

仁川本町 仁川松函沺石組合 電話七一五番

京畿道富川郡守 金泰錫

仁川本町四丁目 カフエー ビウコーチン

京仁線朱安 朱安鹽田協會

朝鮮精米株式會社仁川支店 三戸守三

仁川本町四丁目 ベンネット商會 電話二〇一番

仁川山手町 中元源五郎

仁川敷島遊廓組合（順序不同）
- 常盤樓
- 丸山樓
- 大黒樓
- 紀の國屋
- 松山樓
- 新富樓
- 一力樓
- 一二三
- 入船樓
- 敷島樓

株式會社 藤澤友吉商店 京城支店

京城府大島町一 合資會社 福壽洋行 電話龍山六四六番

京城府長谷川町一二六 日本紙業會社 京城支店 電話本局四〇五 三一五番

京城長谷川町 森永製品朝鮮販賣株式會社 [illegible]

京城府南米倉町一三 辻本商店 辻本嘉三郎 電話本局七五・六四一・一七七五番

京城府旭町二丁目一〇 酒井與三吉 電話本局三六七七番

京城府黄金町一ノ一八一 中華料理 雅叙園 電話本局二五八一 八六二番

京畿道金融組合聯合會
京畿道各金融組合

資本金五百萬圓
日本共立火災保險株式會社
一、當會社は罹災を本旨とし御便利に業務取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
一、電話ノは御一報次第社員参上可仕候
取締役會長 原錦吾
專務取締役
本社 東京市京橋區銀座西六丁目二番地五
京城出張所 京城府本町二丁目二九番地（電話本局長一五六六番）
出張所長 三鍋才次郎
鮮内代理店所在地 京城、仁川、水原、清州、忠州、公州、大田、江景、鳥致院、全州、群山、裡里、光州、木浦 [illegible]

新町遊廓組合

京城旅館組合

京城府旭町一丁目 本券番 電話本局 二六五番 二一九七番 一八〇八番 二一六〇番

遞信局

癸酉新年紙上名刺交換會

牛尾正一 群山

近藤安吉

群山[illegible]學校長 [illegible]

藤貞市

[illegible]

總督府 山澤和三郎

[illegible]

松浦齋生

[illegible]

朝鮮郵船 森辨治郎

總督府 池田清

釜山稅關長 小池泉

賀田直治

群山商工會議所 [illegible]

白石巖

[illegible]

朝鮮鐵道 野田薫吉

釜山 [illegible]

三井物產 高橋茂太郎

佐藤德重

[illegible]

總督府 兪萬兼

[illegible]

總督府 渡邊忍

[illegible]

總督府 林茂樹

[illegible]

總督府 笠井健太郎

熊本利平

總督府 牛島省三

總督府 西岡芳次郎

李範益

總督府 榛葉孝平

慶尙南道警察部長 石田千太郎

總督府 神尾式春

總督府 湯村辰二郎

[illegible]

穗坂秀一

橋口卯作

[illegible]

關水武

總督府 西崎鶴司

總督府 藤本修三

[illegible]

[illegible]

總督府 田中武雄

[illegible]

總督府 穗積眞六郎

釜山府尹 大島良士

李王職 篠田治策

澤崎修

藤谷作次郎

秋吉正夫

神谷小一

松本武正

[illegible]

都筑康二

全北高敞高等普通學校 劉璨植

總督府 林繁藏

[illegible]

鷄……小杉未醒氏筆

酷寒と戰ふ陣中エピソード
＝氷華咲く朔北の野＝

『敵彈に倒れる兵士よりも、倒れぬ酷寒に、凍傷で倒れゆく者の方がはるかに多かつたものだ……』日露戰役に思出も深い老將軍の夜話に聞く、あの滿洲のきびしい寒氣が、匪賊討伐に寧日なき皇軍の陣野に再び襲ひかゝつて、圓らかな皆の勇士の夢も見る破られ勝ちだ。零下二十度！三十度！それは『酷寒』といふだけでは餘りにもはげしい、恐ろしい寒さだ。梟勇馬占山を討ち止めた輝く田中大隊の討伐手記にも記憶新な、泥濘膝を沒する底の沼澤地、それも興安嶺からサッと吹きおろす木枯とともに、砲彈に倒れた軍馬の亡骸もそのまゝ凍り切つてしまふ十一月の聲を聞くともう北滿は冬の世界に入る。匪賊に惱まされる勇士に無情な北滿の自然は暴威を揮ひ始める。陣營の苦心多いエピソード、それは自然に生れ出て來るものであらう。これらのエピソードを通じて、我々は銃後から生命線死守の我等の勇士に感謝の眼から同情愛を捧げようではないか……

山なく林なく 目路す限り、はてし無く擴がる曠野、聞こゆるは怪鳥のうなりに似た、吹きまくる烈風と氷塊を踏む愛馬のひずめの音、我か騎兵第〇中隊はチチハルを距る北に匪賊を追跡中だつた。その日は夜明け前から北滿にも珍しい程の寒氣が襲來してゐた。騎馬の先頭に起つ中隊長は幾分か大聲を發しては續く部下を激勵してゐた。寒風中隊長自身にも何時の間にか恐ろしい睡魔が襲ひかぶさつて來るのだ。寒氣から來る睡魔、防寒帽を通して喰ひ入る寒さに頭の血の循環が惡くなつて來るのだ。手足ならば擦さつも出來よう。頭の中が冷えきるこれには流石の豪勇な中隊長も手の施しやうがなかつた。痛みさへ感ずる頭の中で中隊長は考へた。睡魔に誘はれて、凍死する……大事な部下をこんな事で殺してはならない。ともすれば行軍の馬上で睡魔に陷り勝ちの兵に大聲を浴びせかけては士氣を振ひ起させたのだ。『あの時ばかりは睡魔が凍つてゆく—と眞劍に考へた……』と中隊長は述懐してゐた。睡魔が凍る寒さ！

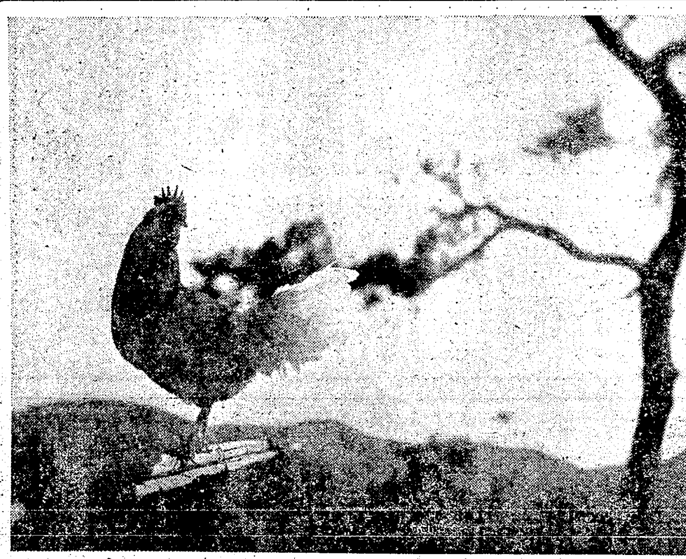
之はさる激戰に參加した重砲大隊がわづか一俵の木炭に救はれた探險苦心談だ。出動を命ぜられた當大隊には燃料用として僅に一臺の支那馬車が支給されたのみだつた 後から大行李が來るであらう、と云ふ安心から手足まとひの荷物は一切燒して、たゞ一俵の木炭がその支那馬車に積込まれただけであつた。十一月下旬の朝だつた。敵陣はいよ〱我が射程に現れ出た。だが、こゝに測らざる障害が指揮官を極度に狼狽せしめた。双眼鏡も砲隊鏡も眼皮を合そうにも脂油が凍りついて動かないのだ。それに友隊との連絡電話機がパタと不通に陷つてゐる。乾電池も、炭素粉も何んと凍つてゐるではないか—この時指揮官の頭には、出發の時の支那馬車の隅の木炭がチラッとひらめいた。貴重な木炭が間もなく眞赤におこされて凍え渡る號令一下、砲口は火を吐いて鳴り續いたことは勿論のことだつた。而も數時間續いた木射擊の間に射手の手足を凍傷から護つてくれたのもこの一俵の木炭だつた。吾秋の筆法をもつてすれば『一俵の木炭、遂に匪賊を走らす』であつた

滿洲の野を明け暮れの住家として育つた支那兵—匪賊は確に耐寒力は我が軍の兵士よりもはるかに上であるのは止むを得まい。彼等は滿足な防寒具もなしで凍え切つた夜氣にたゝかれながらも平氣で一晩中淺い散兵壕に頑つてゐる。嚴い北滿の寒だ。兵を進めてゆくうちには宿るに一般の民家さへ影を見せぬ荒漠たる曠野に幾度となく遭遇する ある小隊もとう〱こんな場所で夜を迎へてしまつた。野營！それはあまりにも自然にさからひ過ぎる。露營の彈だ。天幕—然しそれは敵襲の的だ。で一策を考へ出したのが土窟生活の昔に還ることだつた。苦心の末漸く三間に三間の大穴が掘り擴げられた。眞夜の雨、雪を防ぐためには樹皮と高粱で掩蓋がさし渡された。而もその上には掘り上げた土が五十サンチの厚さ程積上げられて、見事にも砲彈よけが築かれた。一ケ小隊の兵士の全部收容O・Kだつた。內では急造のオンドルさへ器用に作られて、思はぬ安らかな暖い夢がその夜は兵士を包んでくれたのだつた

物皆凍る戰陣で一番苦しむのは何と云つても飲食物の始末だ。特に飲料水！これにはホト〱苦心する。河と云ふ河は砲車の往來にビクともせぬまでに厚い氷が張りつめる。井戸には手の出しようもない厚氷の蓋が蔽はれる。水のない世界……全くそれは想像をはるかに超えたわびしい世界に相違ない。で止むなく敵陣に投げ込まるべき爆藥が無理にも張りつめた河面へたゝきつけられるボッカリとあいたが氷原の口からはるか、下に湛えた川水が汲み上げられて始めて乾きをうるほすのだ。兵士の咽喉をうるほすのだ。水筒につめて持つて行つたら……それはたゞ水筒の中で氷を作るまでの話しで、役に立たうわけがない。だが退避戰にはこんな僥倖がおちて（?）ゐる 匪賊とは云へ人間である以上水の必要なのに變りがない。矢張り河面を爆破しては給水を行ひ〱逃げてゆく。それの跡を追ふ皇軍はこよなき道知るべと而も手を下さずに水を汲む簡便さに惠まれて追擊を急げるのだ。『敵に鹽を送つた』と我が軍史にあるが水を惠む武士の情け（?）これは匪賊の戰略らしい。『水！』と云へば、そう〱一滴の水をめぐつてこんなわびしい話が傳へられてゐる

つめて來た水筒の水も飲み果して今第〇大隊け窓外にはてしなく續く荒涼たる北滿の冬景色の中を軍用列車を急がせてゐるのだ車內では毛皮の防寒服がうるさい程にスチームが通つてゐるのだ。ガラスに雫がたまる。兵士の眼は窓外の景色よりも無數の雫に釘付されてゐた。汽車が停つた。各車內から數名の兵が、バラ〱と飛び降りた。皆水筒をもつて車の下へ入つた。そこには、絕えず〱の雨だれの如く、スチームの雫が窓のはしから、擦げる兵士の水筒の中にはかない音をたて、傳つてゐるのだ。それでゐて兵士の顏は皆眞面目だつた。K一等兵もその一人だつた。わびしい雫の音より耳に入らなかつた彼、發車の汽笛は一滴の雫の前に彼の耳を素通りした。倒るゝならば敵彈の前に……と國の老父の手紙をまつまでもなく固く心に決めてゐた彼が測らざる鐵路の露と散つた だが戰友も、隊長も彼を笑へなかつた。いや皆目をしのんで男泣きに泣かされて終つた。水——小便、これは少し連想が惡いが、陣中では小便もあだ、おろそかには使へない。カチ〱に凍りついた凍土に、いざ塹壕と云ふ場合やどうしてシャベルなんかは齒が立たない。でソレーッと例の一齋射擊を浴びせて置いて、とけかゝつた土から間髮入れずシャベルをさし込み、エッサラ、エッサラ掘り上げるのだ。機關銃の油が凍つて、困り果て、奇策の隊長がヤオラ小便をひつかけて成功した笑へぬ陣中談も傳へられてゐる。陣中の『兵士心得』に曰く『風速五メートル以上の場合風上に向つて小便すべからず……』それは鐵砲ならぬ大事な機關銃が、凍傷を犯すからだ

殺風景な陣中にも流石に元旦の朝は朗かだ。はためく日の丸の下で恒例の新年の宴が催される。氷の酒をかわり合つて、久し振りで隠し藝も飛び出して來る。滿洲事變第一年の陣中『初日の出獻立』はこんな圖揃だつた。かずみ餅、高粱雜煮、數の子、蒟蒻なます、尾頭鯛、みかん、かちぐり、國旗糖、日本酒これは大概來だ、だが、この献立にありつける部隊は幸福だ。とてもとかぬ程の奧地に、元旦の朝もなく奮戰する兵の多い事が、忘れられない



◇本社懸賞寫眞　鷄　佳作　京城　山澤三造

世界の最高峰　エヴェレスト—を目指して

——木村莊八氏筆——

背に世界第一の大高原秘境西藏をひかへ、灼熱の印度平原を前にしてそびえ立つ『雪の城』ヒマラヤの連嶺は、アジアの屋根パミールの高原から東南に走る事約六百里、五十にあまる二萬三千六百呎以上の高峰は千古の雪を藏いて遙かの蒼穹に白く紅く夕榮に映える 曰くカンチエンヂエンカ、曰くナンガパルハット、曰くゴドウインオルチン、曰くエヴェレスト、その壯麗と森嚴とは讚し宇內に冠たるものである。然もその盟主エヴェレストは海拔二萬九千百四十呎、一八四一年サー・ジョージ・エヴェレストが三角法によりその

『高さ』を測量し世界第一の高峰なることが知られて以來全世界の登山家の渴望の對象となつたが幾度か繰返されたその征服の企圖に何れも、その最後の目的に達し得ず、最高の技術と最大の耐苦と、時代の許可する最新の科學とを以てして然も吾等には、その度毎に失望と山の悲劇史とのみが與へられた許りであつた西藏人がチョモランクマ『國の母』と仰ぐ此の神聖なる山は遂に地上の人間に近づく事を許さないのであらうか？剛毅と不屈は登山家の第一條件でなくてはならない かくて新しき年一九三三年は第四回目のエヴェレスト登山隊を印度に送らんとしてゐる。第三回の登山が優秀なる登山家マロリーとアーヴインの二人を悲き死に至らしめて

『失敗』に歸してから間もなく、英國のエヴェレスト委員會は四度西藏法王達頼喇嘛に向つてエヴェレスト登山の許可を要請した—西藏以外に其山に登る途はないのである—然し達頼喇嘛は之を拒絕した。然しエヴェレスト委員會の人々は挫けなかつた 一方に於て、政府を通じて拉薩政廳への入國許可運動を執拗に續ける一方他方に於ては、山の寫眞を寶り、著書を市に送つて遠征の壯圖を傳へた。そしてその努は決して空しくされなかつた、昨年九月三日意外にも早く達頼喇嘛はそのエヴェレスト登山を許可したのである。西藏した委員會によつて直に

『登山』隊は編成された。英國山岳界の先輩サー・フランシス・ヤングハズバンド氏は昂然として言つた『山は成長しない、だが人は成長する、我々は一つの經驗によつてそれだけ進歩する事が出來る、八年前ノートン氏とソマヴェル氏は疲れ切つた身體で、然も酸素をも持たずに、二萬八千百呎の高さまで、絕頂まで剩す所僅かに九〇〇呎の地點にまで達してゐるではないか、空氣中の酸素の缺乏に適應し得る自信はこれによつて與へられてゐる。空氣、疾風、雪、氷、その何れに對しても我々は充分に習練を積んだ、前回の登攀に際しては二萬八千百呎の高さに達する事の可能性が不明であつた、今度の行に於ては何人もがその

高さに達し得られる自信を得てゐる、吾人は今回こその成功を期して疑はないものである』

前三回のエヴェレスト登攀の經驗は一九二一年に始まる、此年ホワード・ベリー中佐は八名の登山家と共にエヴェレストの絕頂に達すべき道を探して遂にその鍵となるべき『北鞍部』の貴重なる發見をなした、翌二二年氏の報告に力を得て隊長ブルース少將、副隊長ストラット大佐以下、寫眞技師、醫師を加へて一行十三名の登山隊は酸素吸入の設備を調へて出發、山中にある事約二旬、五月二十五日フインチ、ブルースの兩大尉が、當時人間の登攀し得た最高地點二萬七千二百呎まで上つたのを土產に險大陷と病人の續出の爲に下山を餘儀なくされた、最後の、そして最も大なる

『犠牲』の拂はれた一九二四年の登山隊にもブルース少將が隊長であつた、一行十三名、最初から天候に惠まれなかつたがソマヴェル博士とノートン中佐は僧侶の戰苦の後二萬八千百呎、山上より僅に九百呎餘の高さにまで登り得たのであつた、が併し、その後には慰し得ぬ悲み、一行のマロリーとアーヴインとの死があつたのである、今エヴェレストの山腹約二萬五千呎の高さに立つ十字架の下にはこの二人と、そして三回の登山に殉じた『無名の勇士』十一名のシヤーパス族の靈が雪の襞を被つて横たはつてゐる筈だ

この十三の靈に護られてエヴェレストの山嶺を目指して決死の旅に出でんとする山の十字軍士は隊長ヒユー・ラトレヂ氏、エフ・エス・スミス氏、ヒユー・ブースデド大尉、ジエー・バーネー大尉シー・チー・クローフオード氏、ウイン・ハリス氏、ジエー・ロングランド氏、ノエル・オデル氏、イー・オー・シエッバア氏、イー・イー・シプトン氏の諸氏に加へてレーモンド・グリーン博士、ダブリユー・マクリーン博士の二醫師は萬一に備へる筈である。何れも一流の登山家であるが

『隊長』ラトレヂ氏は常年四十七歲最近まで印度ヒマラヤのアルモラ地方副知事として同地方の山のみならず全部を人情に明るく。然もその剛毅に惡る〻剛毅と慎重に臨んで騒がず冷徹氷の如き判斷を下し得る所、最もその所を得たものである。スミス氏はかのカンジエンジエンガの登攀に參加した經驗があり、クローフオード氏は一九二二年のエヴェレスト登山隊員の一人である、アルプス、ヒマラヤの諸山のみならずカナデイアン・ロッキーの諸山を踏破した經驗をもつ老練の士である、ハリス氏は英國有數の新進登山家でアルプスは業より最近アフリカのケニア山に登つて一躍名を知られ、ロングランド氏は北イングランドに於て登山に關しては右に出づるものなしといはれる程の練達の士である、ロデル氏に至つてはかの第二回エヴェレスト登山史を繙く人にして氏の名を

『知ら』ぬ人はあるまい 僚友アーヴインとマロリーが豫定の時間までに歸つて來ない事を知るや只一人二萬四千呎の地點より二萬七千呎まで登つて兩人を尋ねた人である

朝鮮の鷄種々相
千古の秘境　鷄龍山

鷄と深い因緣をもつた地名は多くあるがその大宗をなすものは新羅の古都たる鷄林で、その次は忠南公州の一角に巍然たる雄姿を現してゐる鷄龍山である この鷄龍山と稱する由來は他の地名によくみる鷄との動的關係をはなれて雞の形に起因した地相術たる『風水說』から生れた山名である、此山の外貌は一方は雌雞が玉子を抱き雛を孵さんとしてゐる形に似てをる處から、又一方は龍が將に雲間に隱れて天に昇らんとするに酷似してゐるためこの二つの山の形を形容した名稱である、これを『風水家』の專門語を借りて云ふならば即ち『金鷄抱卵、雲龍昇天』の氣勢をもつた山で『將來王都』たるの素質をそなへた所謂大地名山であると云ふ處から鷄龍山と名づけたのである抑もこの鷄龍山の名高い所以は山の外形に雞、龍の特徵をもつてゐるからでもなく又李朝創建の時、事半ばに中止した歷史的因緣からでもない、何百年の永い間朝鮮人の憧憬の的になつたその根本原因は朝鮮人の誰もが、口にする所謂千古の怪書『鄭鑑錄』に現れた『未來鄭氏の王都と又兵亂を逃れる『十勝之地』として幾多の秘訣をもつてゐるからである 鷄龍山を朝鮮人の腦裏に植つけた『鄭鑑錄』の秘書は他日に譲つて茲にはその詳細な說明を省略するが兎に角李朝を通じて朝鮮人の迷信生活を

支配した 怪書であると思へば足る その鄭鑑錄の一節に曰く『鄭都鷄龍國下相氏之都、鷄龍國下相裂將』と云ふ言葉のわからぬ秘句がありその秘句を種々樣々に解釋するが世に多く流行する解釋の一つは現れた文字の如く鷄龍は鄭氏即ち鄭の苗字をもつたものが來都を建設する地であり、又その建國の大業に與つて力をなすものは卞相即ち卞の苗字の人が宰相になり裴將即ち裴の苗字をもつものが兵權を握つて共に建國の元勳をなすと云ふ意味である 鄭鑑錄の一節に曰く（申年春三月、仁富之間夜泊千艘、安竹之間積屍如山、漢南百里鷄犬無聲の句があつてこの秘句は

文字通り 申の年春三月に仁川と富平の間に夜間艘かに千艘の軍艦が泊し、安山、竹山の間に屍が山の如く積まれ、漢南（京城以南）百里の地には鷄と犬の聲が絕えるほどの殺戮を極める大兵亂が起ることを豫言してある、又これとむすび付けた如くその次の句には『有十勝之地、一日豐基、二日花山、三日報恩、四日雲頂、五日禮泉、六日公州鷄龍、七日寧越、八日茂朱、九日扶安、十日陜川』と地名を上げてその十勝之地に住居するものは申の年の兵亂を逃れて立身安命を遂げ得ることを暗示したのである

＝鷄の往來＝

朝鮮に鷄がはいつた起源は余り詳でないが古昔の記錄に殘つた鷄の記錄をみると新羅以前のずつと上古からはいつたことは凡そ推測される。既頃にも書いた通り色々の鷄の種類に關する記錄が三國史にもありその種類は未詳ではあるが特に尾の長い長尾雞は朝鮮の特產であると書いた古書がある、日本の古事記にも天照皇大神が天の岩戸に隱れた時にトコヨの長鳴雞を持つて行つてそれを鳴かしめたといふ雞についての國分古い記事はあるが兎に角今土佐地方で有名な尾長雞は確に朝鮮から移出したのではないかと思はれる、その證據とする一つは土佐の國で長尾雞を産したのは長曾我部氏の以後である 普通の雞に如何に人工を加へるにしても相當の長時間を要するはずである、この節からみて今の土佐の長尾雞は文祿の役當りに朝鮮から移出されたものではないかと思ふ又古記に琉球士より白雞を獻ずとかいた記錄も殘つてゐるがこれは察するに雞か東洋の地域に普及した後に鷄の內で特に奇形なもの又は色々變つたものを奇鷄として朝鮮に送つたのではないか？

鷄を繞る忌喜

朝鮮では宵の內に鷄がなくと不吉といふてゐる、又雌鷄が鳴くと家內滅亡するといふて酷く忌みてゐる、この譯は何れにあるかは詳かでない、勿論鳴くべからざる雌鷄が鳴くは物の順理を犯いた變理であるから不吉にとるのではないか？ 暮の方では田舍では元日曉に鳴く鷄の鳴く數によつてその年の豐凶を占ふ慣習がある、一番鷄の鳴く度數が十四以上續く時は豐年としてあり、八回以下に下る時は凶年といふてゐる。又雌鷄が産んだ小い玉子を手に入れゝば金満家になるといふ迷信もある。

賀正

- 全南順天　大垣農場　支配人　野村兵次郎
- 全南順天　順天水道　從事員一同
- 全南　順天郵便局一同
- 全南　順天邑事務所　職員一同
- 全南　順天小學校　職員一同
- 全南順天　金曜會
- 全南順天　道立順天醫院　職員一同
- 全南　順天郡廳　職員一同
- 全南　順天電氣株式會社
- 全南　順天警察署　職員一同
- 全南　順天公立普通學校　職員一同

- 木浦農談會　東拓支店　實業會社　稻田農事　國武農場　興業會社　德田洋行　木浦殖產
- 木浦旅館組合　三吉野旅館　國武旅館　虎屋旅館　大富士旅館　寶屋旅館　藤井旅館　柴田旅館
- 木浦金曜會　朝鮮銀行支店　殖產銀行支店　十八銀行支店　湖南銀行支店　東拓支店
- 木浦新報社長　光州日報社長　福田有造
- 木浦府會副議長　奈良次郎
- 木浦商工會議所會頭　村上直助
- 木浦運動協會
- 全南木浦　丸岡百貨店
- 全南木浦　小口季隆
- 木浦鐵道病院長　宮崎速雄
- 木浦府務安通八番地　株式會社全南百貨店
- 木浦運動協會幹事　下條住一
- 木浦運動協會幹事　井上美憲
- 木浦運動協會幹事　村上安邦
- 全南木浦　御料理　東雲樓
- 木浦公立普通學校　職員一同

- 全南木浦　朝鮮棉花同業會
- 木浦無盡株式會社
- 木浦郵便局長　加藤俊茂　外職員一同
- 木浦商工會議所副會頭　金源喜
- 全南木浦　米澤嘉一郎
- 木浦消防組頭　松前義三
- 全南木浦辯護士　永田千代松
- 全南木浦松本產婦人科病院長　松本則章
- 全南木浦辯護士　佐藤秋二
- 光州地方法院木浦支廳　職員一同
- 全南木浦　南北棉業株式會社
- 木浦驛長　小川直吉
- 木浦測候所長　原田昇一
- 全南木浦　常盤病院
- 全南木浦　全南採棉檢查所長　太田尾鶴彌
- 全南木浦　穀物檢查所長　妹尾與錄
- 全南木浦　厚地病院

- 木浦府尹　松島伯一　外職員一同
- 木浦商工會議所
- 務安郡廳
- 木浦無線電信局　秋山忠次　外職員一同
- 木浦稅關支署一同
- 全羅南道水產試驗場　金子政之助　外職員一同
- 木浦警察署　職員一同
- 朝鮮汽船株式會社　木浦支店
- 全南木浦　朝鮮棉花株式會社
- 木浦公立高等女學校　職員一同
- 木浦公立商業學校　職員一同
- 木浦公立小學校　職員一同
- 木浦海事出張所　加藤寮平　外職員一同
- 木浦府廳
- 朝鮮木浦　木浦電燈株式會社

スポーツの將來

文部大臣 鳩山一郎

今から百年餘り前、西暦一八一五年彼の有名なワーテルローの戰で、英國の名將ウエリントン公が、一世の雄傑ナポレオンを敵として、難戰苦鬪遂にこれを打ち破り、流石のナポレオンをして再び立つ能はざるに至らしめた時、ウエリントン公はその勝利の原因に就て、これは全く英國の將士が、青年時代に學校の運動場で鍛へた精神力と肉體力とを遺憾なく併せ發揮した故と斷じたといふ話であるが、これは味のある觀察である。英國人は武士道の或る部分は學生時代のスポーツで作り上げることになつてゐて、校庭でスポーツをやり乍ら、「ずるいことをせず正直にやれ、卑劣なことをせず公明にやれ、不眞面目を捨てゝ眞劍にやれ」と絶えず鍛へると聞いてゐる。何しろ血湧き肉躍るゲームを行ひつゝ精神を鍛へるのであるから立派な修養となることは勿論である。

スポーツで最も尚ばれるのは、いふまでもなくスポーツ精神そのものである。體力や技倆は勿論絶對必要であるけれども、この精神を缺いたら既にスポーツでなく、暴力に墮する。

昨年のオリムピック大會で日本のチームが、全米國否全世界の賞讃を博したのも、單に競技の成績がよかつたといふだけでなく、日本固有の武士道に基いたスポーツ精神をも凡ての點に於て遺憾なく發揮したからである。多數なる日本の國際的立場から考へてもオリムピック大會の如き世界の視聽を集める國際競技に於て日本固有のスポーツ精神と競技の實力とを世界に示したといふことは日本を理解せしめる上に於ても適切有効であつて、スポーツが、國家に貢獻する偉大な力である。現にオリムピックに來てゐた米國の某大學教授は「米國人は米國で働いてゐる日本の勞働者を通してのみ、日本人を知るに過ぎない。若しオリムピックに參加した日本のスポーツチームが全米に旅行して、廣く米國人と接觸するならば、日本及日本人に對する米人の理解は一變するであらう」といつた。

我國のスポーツは既に世界の水準線を越えてゐる。こゝまでレベルを引上げて呉れたスポーツ關係者に對しては、深き感謝と讃辭とを惜まないものである。今後のスポーツは一層堅實なる歩調を以て、その內容充實に邁進すべきであると、而して眞に日本青年の魂の強化に寄與するものとならねばならない。これが、スポーツの將來に就ての私の希望である。

第十二回オリムピック大會に就て

大日本體育協會會長 岸 清一

現今の國際オリムピック大會は神武紀元前百有餘年より紀元一千年、即ち仁德天皇の御代の頃まで盛行し、其後全然廢滅に歸してゐた古の希臘の競技を再興したものである。即ち復興せるオリムピックは要するに古代希臘の體育理想たる肉體的完成と純眞勇壯なる精神の尊重とを復活し國際競技の勵行に依つて國際親善を增進し世界の平和に貢獻せんとするものであつて、其主唱者佛國人バロン、クーベルタンの獻身的の奔走と努力に依つて一八九六年第一回のオリムピック大會を希臘のアゼンスに開催したのである。而して爾來四年毎にこれを開催し第六回のベルリンの大會が歐洲大戰の爲め休止となつた以外年と共に盛大を極めて昨年のロサンゼルスの第十回大會となつたのである。

昨年、米國ロサンゼルスにおいて開催せられたる第十回國際オリムピック大會に於ける日本の參加種目は陸上、水上、馬術、ホッケー、漕艇、レスリング、樂艇、體操及びスポーツ藝術の九種目で未だ參加せざるゲームは六であつた選手總數は男女總計百三十一名であつて、役員は總務委員、マネージャー、コーチ、醫師等を通算して六十九名であつた。

昨年の大會に參加した日本のデレゲーションの特徴は非常に國家的精神に燃えた事である。昨年五月畏くも[illegible]思召に依り多額の御下賜金を大日本體育協會に御下賜に相成りたる爲め、同協會は勿論全國のスポーツ關係者は皆此光榮に非常に感激し祖國の名譽の爲めに奮鬪努力して皇恩に報い奉らん事を誓つたのである。

我々は祖國の名譽とスポーツの爲めにゲームの前後を通じ最善を盡した。我々はゲーム開始の時期に當り秩父宮殿下より文部大臣を經由して一同に下し賜はりたる激勵の御言葉に感激發奮して皇室の御仁慈を重ねて感謝したのであつた。

ロサンゼルス大會に於ける技術上の成績は此處に詳細に述べない。現に前回アムステルダムに於ては日本は始めて二個のチャムピオンシップを獲得したるに對し、此度は七個を獲たのみならず其外に二等七個、三等四個の入賞をなし、總計十八本の日章旗をスタヂアムの檣上高く揭揚する事を得たのは長足の進步であつて日本は世界各國に對しスポーツの新興國たる事を誇り得るものと信ずる。

ロサンゼルスの大會は、幸ひにして非常な成功に終つたが、次に考へるべきことは第十二回オリムピック大會を東京市に開催せんとする問題である。私は永田東京市長の熱心な勸誘により、ロサンゼルスにおいて私と同様に國際オリムピック委員である嘉納治五郎先生と共に第十二回の大會に對する招待狀をオリムピック委員に提出した。

オリムピック大會の開催地を決定する權は國際オリムピック委員會の獨占に屬し、各國の政府も國際聯盟も全然之には容喙は出來ない。此委員會の本部は瑞西のローザンヌにあつて現在之に加盟して居る國は四十四ヶ國である。而してスポーツ界に於ける歷史及び勢力に應じ一名乃至三名の委員を同委員會に於て終身の任期を以て推薦する事になつて居り現在の委員の總數は約六十名で、白耳義のバイエ・ラツール伯爵が其委員長である。世界の大國中此委員會に加入しないものはソヴエート露國のみである。

第十二回の大會開催地たる事を希望して國際オリムピック委員會に招待狀を差出し居る都市は、現在歐洲では伊太利のローマ、西班牙のバルセロナ、洪牙利のブダペスト、芬蘭のヘルシングフオルス、愛蘭土のダブリンの五市、アフリカでは埃及のアレキサンドリヤ、南米では伯剌西爾のリオデジャネイロとアルゼンチンのブエノスアイレスの二市、北米ではカナダのトロントであつて何れも十年以來の候補地である。その中ローマが最も有力である。同市では既に全部大理石を以て築造した大々的の各種競技場を殆んど完成し、ムッソリーニはローマを第十二回の大會開催地たらしめんとして各國に對し熱心に運動して居る。昨年初めて候補に立つた東京市がこのローマを追越して競爭に勝ち、第十二回大會を日本に迎へる事は非常なる難事である。況んやローマならば歐洲諸國は近接の土地なるに反し、東京は非常に遠隔の地であるから旅費の點に於て日本は歐洲の諸國に對し何等かの便宜を計る事を必要とすると思ふ

或人は昨年オリムピック大會をロサンゼルスにおいて開いた以上は、日本が歐洲より遠距離であることは別に問題にならないと論ずるが、之は歐洲大戰に米國が參戰して聯合軍の勝利に貢獻した論功行賞の意味が大いに含まれてゐるから、米國の例を以て東京を律せんとするは無理である。然し我々の主張の要旨はオリムピック大會開催地を歐米に限るは不可である、亞細亞に於ても開催すべし、特に日本は新興スポーツの國として開催地たる資格を充分に具備するものなりと言ふにあつて、此の論議は相當に有力であるけれど、日本は氣候の點に於ては難の多い爲め選手上非常に不利である。

此の問題の決定は今より五年後即ち昭和十年國際オリムピック委員會の每年開會するコングレスに於て決定される事になつてゐるから、それまで不斷不休の努力を要する譯で、私は昭和八年の年頭に當り全國民諸君が此問題に充分關心を持つて我々の運動に絕大な後援を寄されんことを望んで止まない。

昭和八年の運動競技界

大日本體育協會副會長 明治神宮體育會副會長 平沼亮三

昭和八年の年頭に當て先づ我々の銘記すべきは畏れ多くも天皇陛下を始め奉り皇室の運動競技に對する御熱心の有難き御思召しであります。昨年五月大日本體育協會がオリムピックチーム遠征の準備を進めてゐる時に當り、畏くも天皇陛下には體育御獎勵の思召なる御手元金より多額の御下賜金を賜はり、全國のスポーツ關係者は皆この光榮に感激し奮鬪努力を誓つて皇恩に報い奉る事を申し合せた。又オリムピック大會第一日の劈頭に當り文部大臣を通じて秩父宮殿下には電報にて有難き激勵の御令旨を賜はり一同に感激にむせんだのでありました。オリムピックに於ける日本デレゲーションの好成績、好人氣は全く皇室の御獎勵の賜物であると信じます。私はこの年頭に當り全國民が先づ謹んで皇室の御繁榮を祝し奉ると共に、優渥なる皇恩に報い奉らん事を誓つてほしいと思ひます。

今年は昨年のオリムピックのやうな華かな國際的の大競技はありませんが、二年目に行はれる第七回明治神宮體育大會が開催され、極東選手權大會も明年に迫つてゐるので矢張り昨年に劣らぬ賑やかさを示すものと信じます

近時運動競技の隆盛なるに從ひ之に伴ふ弊害の現はれて來たのは誠に遺憾に堪えぬ事であります。之に對し所謂スポーツ淨化などいふ呼聲の高まつて來たのも殘念な事であります。運動競技界に對し淨化運動の起つて來る事は全く競技界それ自身の恥辱であつてスポーツに淨化等のあるべき筈はありません。然し既に起つた事はもはや致し方ありません、我々はあく迄スポーツの本義に基き運動競技界を毒する弊を絶滅せねばなりません。これは一片の訓令等の到底及ぶところでは無く、要は運動競技に關係する人々、運動競技を行ひつゝある人々の自制力に俟つより方法がありません。昭和八年をよりよき一年であらしめる爲に、お互ひに年頭に當つて强い決心を固めやうではありませんか

次に本年の各運動技界は如何でありませうか、スポーツ界の正月は四月を以て始まるので、今から之を考へるのは時期尚早の感がありますが簡單に一瞥してみる事にしませう

ウインタースポーツの華ラグビーは豫想通り早大が其の覇權を握つて東都の各チームはいづれも西下して一戰相交へんとして居ります、各大學の對抗戰は一月中旬で終りを告げるが續いて東西對抗の一戰からOB戰が開始され益々其の隆盛を誇つて居り、今後のラクビー界に望む事は國際的に活躍する一事であります

オリムピックで今一歩といふところまで迫りつけたスキーとスケート兩競技の活躍も目覺しいものがあります。スキーは全日本選手權が札幌でインターカレッヂが飯山で行はれるが、オリムピック出場選手を中心に必ず新しい收穫を齎らされる事でせう。スケートは日光と東京で全日本選手權大會を開催することゝなつたが、スキーと共に立派な成績を殘すものと期待されます。殊に從來完全なスケートリンクに乏しかつた我が國にとつて、日光の完全なトラック、山王台附スケート場の完成は大いに慶賀すべきで、今後斯技の發達見るべきものがありませう

四月の聲を聞くと野球、庭球、陸上競技の各競技は漸くシーズンに入り、次いで水上、籠球、排球、ホッケー等の諸競技もそれぞれ百花繚亂の賑かさを呈する。早大の復歸により元通り基礎の固まつた東京大學野球聯盟の春季リーグ戰は四月下旬から行はれ、昨秋の覇者法政を廻つて早慶明の肉薄振り目醒しかるべく、帝大、立教の奮鬪も見逃すことは出來ますまい。米國選手のコーチを受けた各大學チームの技倆の向上も期待され、一戰每にファンの血を躍り全國民を熱狂の坩堝に引き入れずにはおかないでせう、夏の甲子園大會、更に行はれるリーグ戰と野球界は益々多事であります

世界の覇權を握つた水上競技界は、其覇權を確保するため益々其實力を充實し、ロスアンゼルスから歸ると直に陣容を改め、國內水泳の普及に努めると共に直にベルリンの大會に對する目標を定めました。宮崎、北村、牧野等の超人的活躍に驚異の眼を見張つた世界の水泳界は今更に日本水泳界の研究に力を注ぎだしたのは誠に愉快です。今年も不屈の精進で、いゝ記錄を出して世界の水泳界を大いに驚倒せしめる事と信じます。

年頭に當り我が運動競技界の大勢を語り、其の益々發展せん事を望んで止まないのであります。

朝鮮體協更生策

會則と機構に一大變革を加へよ

……中馬越山

予は昨年二月評議員會上に於ける協會の役員總會の席上、之が內容の刷新と充實につき、意見を開陳して從來の方策と組織を、根本的に改むるにあらざれば協會は、將來破產の運命に陷らんと警告せしに當時武者副會長より、事情はよく分つてゐます、唯今も理事會でその話も出ましたから、何んとか改正の方法を講じますとのことであつて、二三改善せられた點もあり、喜んでゐた矢先、突如新聞紙の傳ふる所によれば、財政的ピンチに立ち、赤字四萬から有給者を解職し瓦解か存續の重大分岐點に彷徨しつゝありと承り、協會のため大に憂慮してゐる一人である

× ×

當時予の述べた意見は、大體左の項目につき說明したのであつた

一、會則に一大變革を加へ、役員組織を改め、之が職掌を明らかにして、事務の簡易化を圖ること

二、最高幹部の決議機關制を改め役員の合議制とすること

三、豫算決算を明らかにして、協會の營業的政策を止め、眞にスポーツの指導機關たること

四、半島體育の體育的聯系の統制を圖ること

五、速に機關雜誌を發刊し、記錄を確實にし、體育の獎勵普及を圖ること

右の內會則の變更については、機關雜誌朝鮮スポーツ八月號によれば些少の改修を見、特に役員中從來無かつた評議員の如き、斯界の權威者を多數網羅せられたのは洵に喜ぶべしとするも、現會則第十條に依るときは『評議員は會員總會に於て選擧し云々』とあり、果して總會を開催し、選擧により之を任命せられたるや否や、若し然らずとせば違法なるも、恐らく舊會則により任命したる後、新會則を改正せられたるものならん、然りとせば反則にはあらざるも、苟も會則變更の如き重大事項を、之が改廢に關する條文なしとて會員總會に諮らず、改正するが如きは穩當なりや否や、斯かる場合こそ條文は不備なると、會則第十五條を適用するものなりと思惟す

又監事の如き新に之が制定を見たるは大に可なるも、會計上重要なる役員の任命なきは如何、赤字問題の如き之をして業務の實況を監査し、會長に報告せしむる如くせば、今回の不祥事件の如き世人の疑惑を招くが如きことなく、又幾分禍を未然に防ぎしものならむと考へらる

× ×

而して予の會則に一大變革を加へ、役員組織を改め、之が職掌を明らかにして、事務の簡易化を圖らんとするは、斯かる枝葉末節の法理論にあらずして、根本的に協會の主義方針を定め、之を會則とすべきものにして、第一に體育運動團體の聯系を統制し、縱と橫のコオペレーションを緊密にし、合理的振興策を講ぜんとするものにして換言すれば道單位の體育團體と各種目別競技團體とを統制し互に連絡を保持せんとするものである

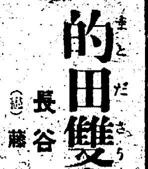
然るときは第二に役員組織の大變更となり、主として道單位の體育團體統制と、政務總監を總裁に推戴し、學務局長を副總裁とし、道單位種目別體育團體の關係者及之に關係ある其の他の者を役員とすべきものにして、斯かる方針の下に邁進するときは、自然事務所の如き綜合統一の關係と、お氣の毒ながら總督府內に之を置いて貰ひ、從來の如く依然半官半民の體育團體として、眞に半島スポーツの總元締をなし、又各役員の分擔業務も明記し、事務の簡易化を圖り、能率を增進し得る如く、改正せられたいものと思つてゐる

× ×

何れかと云へば從來の協會幹部は、甚だ失禮かも知れぬが、官僚や地位名望に捉はれ過ぎ、眞にスポーツを理解する人、又スポーツマンを除外したるため、怨嗟の聲を耳にしたるともあり、それがため新味と熱を失ひ、萎靡沈滯の弊となりしにあらずやと思はれる感もあり、故に更生の第一步として、新進氣鋭の士を拔擢して活躍を圖ると共に、活動の主體たる人を重用し、地位高く名望ある人又は功勞者は、之を顧問、評議員として陣容を立派にするにあらざれば、到底更始一新の實は擧げ得ざるものと思はる

以上の外各種事業の經營、ヂャーナリズムの排擊、資金の調達、豫算の査定、會員組織の件等意見なきにあらざるも之は他日に讓るとして、兎に角現協會は古い歷史と光輝ある沿革を有するものなれば、之を解消するが如きは半島體育界の一大恥辱なりと心得、速に役員の全體會議を開くか、或は改正委員(各道種目別代表者を含む)を擧げ、忌憚なき意見を徵し、根本方針を確立し、之が機構に一大變革を加へ、會則を改正すると共に、協會の中心となる主腦の如きも、この難關を突破する斯界練達技能の士を選び、調和性と實行性に富み、各方面に肌觸りのよい、明るい正しい人を登用し、春のスポーツシーズンに先立ち、一日も早く協會更生せしめられんことを熱望して止まないものである

的田雙八 【36】



長谷川伸 作　藤井清 畫

酒だる（一）

びしよ濡れになつて、的田雙六も良平も、西の篠の浪宅へ歸つてゐた。

良平は、土間へ自分の傘と、雙六の番口になつた傘とを、元の通り窄めて持ち歸つてゐた。

『良平。着物を換たい』

『只今』

良平は、濡れ衣を脫いで眞ッ裸になり、雙六の衣換の世話をした。

『良平。あいつ等は何者だ』

『何者だか知れぬと、踊り道で話した譯でございます』

『それは聞いたが。少しぐらゐは判りさうなものだ』

『良平にも薩張りわからねえでございますだ』

『あいつ等がお前を呼び出したのか』

『さうだとは良平、まだ申さなかつただ』

『だから訊いてゐるのだ』

『全くの處は、あなた樣、怒らぬと約束してくださりまいかなあ』

『怒るものか、わしは幼い時からお前の世話になつた男だ。お前がなかつたら今のわしは無かつたのだ。叔父も從兄弟も澤山あるが一人として、わしの味方ではないからなあ』

『乾と怒らぬな、何事であつても、あなた樣は怒らぬのでございますだな』

『怒らぬとも』

『武士に二言はないといふ譬がありますだ』

『念には及ばぬ』

『では申しますだ。けふ、どこかの男が、途中で頼まれたとて、手紙を持つてきましただ』

『どうも左樣らしいと思つた。で、その手紙はお前のところへか』

『あなた樣へでございましただ』

『何だわしの處へ。それを見せなかつたではないか』

『はい。見せなかつただでございますだ』

『何で』

『見せんでも良え手紙でござりますだ。その代り良平が見ましただ』

『それか、今の三人の奴からの呼び出し狀であつたのだな』

『違ひますだ。手紙はあなた樣が好きで、良平が嫌ひな奴からでございますだ』

『わしが好きな人は?』

『女でございますだ。美しい顏した娘でございますだ』

『だれの娘だ。太刀馬の娘の事だな』

『あの娘が、あなた樣を呼び出しの狀を書いて寄越したのでございますだ。良平はその手紙を見ると、すぐ引ッ裂いて捨てましただ』

『良平、馬鹿な事をしてくれるな。わしは、太刀馬の娘が、男姿をしてゐるのに出會つた事は話したな。たゞ出會つただけだ、たゞ斬らなかつただけだ、それだけだ、何でもない』

『それが何でもないので御座りますだか』

『斬らなかつたのは女だからだ、取るに足らぬ女だつたからだ、男なら、勿論斬ッ二つにしてゐる』

『同じことばかりあなた樣はいふだ。良平はさう思はぬだ。良平の眼は今までに、あなた樣より餘計世の中を見てきてゐるだ』

『わしが太刀馬の娘に懸想してゐて、斬るべきを斬らずにゐるといふのか』

『それもあるだ』

『わしは、あの女を斬らぬ』

『美しいからでござるだ』

『あの女一人ぐらゐ何であらう、斬らずともいゝ』

『良平はまだ裸でござりますだ。今着る物を引つかけて參りますだ』

更めて若い主と中年を越えた家來とは、雨の外の音に包圍された浪宅の中で、灯を圍んで向ひあつた。

『良平は心配してゐるのでござりますだ。御兩親の頃のわだちの跡を後の方も通るではねえかと――』

『それは?』

『あなた樣は、父親樣の子だ、母親樣の子だ、どちらの方にも似た處を澤山に持つてござる』

『だから何だといふ?』

『中途で腹を切りはせぬかと、心配で心配でならねえでござります』

謹賀新年

平澤警察署 署員一同

振威郡廳 職員一員

平澤自動車運輸株式會社 電話一四番

德川農場 平澤出張所

カネモ商會 森賢吉 電話一〇番

平澤面事務所 職員一同

京釜線平澤驛前 商業組合 設立準備主任 成周煥 電話四一番

京釜線平澤驛前 米穀商 李敏斗 電話三三番

平澤電氣株式會社 電話五番

平澤郵便所長 石川順平

群山府元町 更科 電話二四番

京釜線平澤驛前 加納旅館 電話七番

穀物檢査所群山支所 橫山要次郎

京釜線平澤驛前 米穀 肥料 繩叺 商 垣內恒太郎 電話九番

群山府 渡邊金記

京釜線平澤驛前 坂井商店 電話一九番

群山府大和町 やつこ食堂 電話六三九番

京釜線平澤驛前 材木 白米 岡田武吉 電話一六番

群山府藏前町 林兼冷藏庫

平澤農業倉庫 緖方尙

群山米穀取引所會員 山本一男

京釜線平澤驛前 米穀商 李鍾九

全北道議會議員 磯部謙哉

京釜線平澤驛前 米穀商 大成商會

群山刑務支所 親和會

總督府專賣局平澤收納所長 金鎭瀅

群山府行田町 小林寅造 電話三四八番

京釜線平澤驛前 平和病院 金炳

群山中華商務會

京釜線平澤驛前 米穀商 共榮社

群山府大和町 石見屋商會 電話二二二番

朝鮮總督府穀物檢査所 仁川支所 平澤出張所 職員一同

全北沃溝郡廳 職員一同

群山府明治町 群タク自動車部 服部房吉 電話一〇二二番

群山税關支署 職員一同

繩叺。石油。肥料。米穀 群山繩叺商會 群山府本町二 電話八五二番

群山府 篠田組 電話二三番

群山食料品市場

群山親商會

群山府本町 大澤藤十郎 電話一〇一番

忠南長項 齋木工務所

群山府 佐藤政次郎 電話一二二番

全州法院支局 群山出張所 職員一同

群山府本町 米穀商 田中龜次郎 電話長五一番 長六四七番

群山府平田町 赤松醬油釀造所 電話五〇番

忠南長項 穀物商組合

群山手形交換所組合銀行
朝鮮銀行群山支店
殖產銀行群山支店
十八銀行群山支店
商業銀行群山支店
東一銀行群山支店

群山米穀取引所

群山料理屋組合

群山米穀取引所會員 脇田春次商店 群山府全州通 電話長一〇三・九四四番

群山米穀商組合 組合長 花岡鶴松 理事 古川秀二

全羅北道 沃溝五日會

群山木曜會

群山米穀取引所 會員組合

謹賀新年

裡里 板井信藏

裡里榮町三丁目 ツルヤ洋品店

裡里旭町 堀内朝鮮酒釀造

裡里 天誠堂醫院 文致淳

裡里 【黒の秋】 土屋酒場

裡里學校組合議員 田村龍助

裡里學校組合議員 新井久一

裡里 川向建築事務所

裡里 山野安太郎

裡里 三山醫院 金炳洙

裡里穀物檢査所 鹽見覺之進

全羅北道農事試驗場 安東直

裡里榮町三丁目 齋藤履物店

裡里旭町 度量衡修理 安澤晋太郎

咸悦公醫 金德鎭

裡里元町 横山材木店

裡里旭町 共立材木店

裡里本町 福迫材木店

裡里 キング寫眞館

全北益山郡 咸悦公立普通學校 職員一同

裡里榮町三丁目 横田呉服店

裡里藥業組合

裡里 眞谷印刷所 主 眞谷鐵三

裡里榮町 菓子舖 浦野梅月堂

裡里榮町四丁目 中島家具店

裡里 大杉晋一

裡里榮町二丁目 時計貴金屬 福島玉山堂

裡里榮町四丁目 井上陶器店

裡里朝鮮酒製造 白石喜三郎

裡里 青木堂

黄登 臨益水利組合長 藤井寛太郎

益山郡廳

裡里精米業 村井精米所

朝鮮總督府内務局 裡里土木出張所

全北大場村 今村一次郎

裡里榮町三丁目 那須材木店

鐵道局指定 岩見屋呉服店 裡里榮町十五番地 電話裡里一三五〇番 振替京城一〇五五番

裡里水道事務所 廣井次郎吉

咸悦 多木農場

裡里 タシロ食堂

裡里 笠松擧行

裡里學校長會

裡里學校組合議員 石材 青木長藏

裡里工友會

裡里本町 食料雑貨 秋山商店 電話一二七番

裡里學校組合會議員 阿波榮一

全州地方法院裡里出張所 笹井正一

五山面長 鄭庄彦

裡里邑會議員 草ケ谷英之助

裡里邑會議員 裡里學校組合議員 河本國三郎

咸悦穀物檢査所 井上伊三郎

五山里公立小學校 佐保昰郎

農事試驗場南鮮支場 和田滋穗

裡里三十日會

東津水利組合長 齋藤竹次郎

裡里米穀商組合 [illegible]

全北裡里榮町 上岸自轉車店 電話一四七番 ヲイオン號 リッチ號 山口號 ケンネット號 プリミヤ號 代理店

裡里邑長 高山總朗

裡里木曜會

裡里醫師會 武市知十郎 中村新一郎 福岡榮太郎 古賀第五郎

裡里元町 料理 むさしの

裡里 一樂

裡里學校組合議員 石崎梅次郎

裡里神社 黒山眞宏

裡里學校組合議員 松浦英夫

裡里學校組合議員 松村松一

裡里 玩具袋物商 山崎覺藏商店

裡里アツカ幼稚園主 有谿清亮

裡里邑會議員 土車仁作

裡里邑會議員 吉田松太郎

裡里邑會議員 裡里學校組合議員 五百藏直樹

裡里土木管區事務所 樋口熊夫

裡里學校組合 松尾熊太

裡里 共同荷主運送店

裡里榮町四丁目 カメヤ 兵頭菓子舖

裡里榮町四丁目 魚商 山田耕三商店

裡里榮町 在間昭美堂

裡里榮町四丁目 角道現金堂

米國テキサス石油會社 全北代理店 北川商會

黄登公立普通學校

裡里 金谷勉强堂

益沃水利組合理事 中村安雄

裡里榮町 中島彌太郎

裡里榮町二丁目 堂本百貨店

京城府本町 更科 電話龍山四一二番

京城南山町 はり半 電本三九一一番

京城府南大門通一丁目 日本タイプライター株式會社 京城出張所

東京市淺草區北[illegible]町一三 電話淺草(86)七〇六四・七〇六五番
軍隊用品ウエス 石版印刷用ウエス 機械拭用ウエス 系屑一式ウエス 再製原料 毛布屑物 諸屑輸出商
京城府吉野町一九 中田屋商店 電話本局三七一三番
元山府旭町二ノ一三（電話一一五一番）

京城府明治町二丁目 郁文堂 電話本局一七五番

京城府南大門通り五 發動機製造株式會社 京城出張所 電話本局二〇〇七番

京城府本町二 鳥料理 喜久家 電話本局一三八三

京城府黄金町二 西洋料理 銀松亭 電話本局九五番

京城府本町二丁目 蔘精元賣捌 貴生堂 電話本局一三八番

一年の計は元旦に在り 本年の御建築は是非 大正ブロックに 大正コンクリート工業所 京城岡崎町一四 電話龍山四八〇番

岸の寮 旭町九四、九七

京城府本町一丁目 西洋料理 太陽軒 電話本局四〇八六

京城齒科醫師會

京城湯屋業組合

京城府明治町 株式會社 京城德力

京城府黄金町二 東京建物株式會社 京城支店 電話本局一三八一・一六八一

花園町公設市場組合

本町一（電本一四三三） ニコニコ堂本店
本町二（電本三三五六八） ニコニコ食堂

京城府旭町一 西洋料理 山陽軒 電話本局三五六三

京城府黄金町五ノ二九 京江トラック組合 電話本局四七一三・四七二一・一八六八番

京城府南大門通五丁目一番地 富士電機製造株式會社代理店 古河電氣工業株式會社京城出張所 古河鑛業株式會社京城出張所 東亞ペイント製造株式會社京城出張所 横濱護謨製造株式會社朝鮮出張所

平田百貨店 京城府本町一

京城府明治町二 カフエー 菊水 電話本局三六八六

京城府永樂町二 西洋料理 バロン 電話本局一六九二

京城府本町二（本ビル一階） プレイガイド 電話本局三七七四

京城府明治町二ノ二九 新興キネマ京城支店 電話本局四五四四番

京城府本町一 料理 松園（電話本局一一八五）
京城府櫻井町一 バー料理 大鶴（電話本局三五六四）

京城府明治町二丁目二五番地 吉谷山陽堂 電話本局三七〇三番

京城府明治町二 西洋料理 丸ビル會館 電話本局一二三三・一八九六

京城府本町三丁目 支店 渦巻會館 電話本局一五四七

三井合名會社 朝鮮農林事務所

料理 南山荘 電話本局一五一三・三五八五

西洋料理 支那料理 サロン アリラン 電話本局一一〇二

京城府南大門通二 大日本人造肥料株式會社 京城出張所 電話本局四〇二六

京喜久 電話本局七一六番・二三二五番

京城府太平通一丁目四十番地ノ二 合資會社 多田工務店 電話光化門一二二番

京城府並木町一五一番地 辯護士 法學士 守屋榮夫 辯護士 森安敏暢 電話長本局二八八七番

京城府 永樂町市場組合

朝日石鹼株式會社 京城府岡崎町 電話龍山三六四番

株式會社伊藤商行 朝鮮計器株式會社

京城府南大門通五（日華ビル二號館） 朝鮮皮革株式會社 京城販賣店 電話本局一九五六番

社團法人 京城放送局

京城金物商組合

青春哀歌（83）

群司次郎正作　野崎友三畫

嵐のあと（四）

『恐いんですか？雷がそれほど恐いんですか？恐いんですか！』と、同じ言葉を繰り返す龍夫の腕には、次第に情熱の力が加はつて行つたが、世間から受ける恐怖にばかり氣を取られた澄子は、返つて、それが自分をかばつてゐる愛のやうに感じてゐた。然し澄子は雷鳴の靜まつた一瞬、自分の胸を、しつかりと龍夫の腕が締め附けてゐることに氣附いて思はずハッとした。

『あゝ、宮部さん！後生です。――息が苦しいんですの……』

と、新らしい恐怖に戦いた澄子は、身悶へたが、悶へれば、悶へるほど、彼の腕の力は増して來た。龍夫自身も息詰まるやうに喘ぎながら、まるで澄子の言葉など耳に這入らないほど、興奮して居た柔らかな澄子の二つの乳房の膨

胸が芳醇な恍惚を誘ひ、倒錯は極となつて、彼は完全に泥酔してしまつた。そして彼は、殆んど無意識のやうに、自分の狂はしく灼け爛れた胸を、潰れるほど、澄子の豐かな胸に押しつけた。

『あれ！宮部さん！何をなさいますの？あれ！宮部さん！』

と、低いが鋭い聲で、喚くやうに彼女は叫びながら、一層、身悶へした。

『あれ！……宮……部……さん、あなたはなんと云ふ――なんと云ふ――貴方は卑怯な方なんでせう――』

と、澄子は必死になつて叫んだ瞬間、龍夫が思はず彼女から飛びのくと、本能的に亂れた着物の裾をかき合せながら、きつと龍夫を睨み据ゑて叫んだ。

『宮部さん！貴方は氣でも狂つたのでせうか？』

だが、すぐ澄子はすゝり泣くやうに聲を潤ませて、『まさか、私が岡田の妻だと云ふことを御忘れになつたんぢやないんでせう？貴方の親友の妹です、私は……あんまりです。あなたは、あんまりです。立派な紳士でゐらつしやる貴方が、そんなことをなさるなんて、私悲しいんです。恨みに思ひますわ』

と、聲を露はして澄子は啜り泣き初めた。

けれども、龍夫は默然と、自失したやうに、澄子の嗚咽する樣子を見詰めてゐるばかりで、微塵も動かなかつた。

外は漸く風もやんで、雨も小降りになつたらしく雷鳴さへ次第に遠のいて行く樣子だつた。時折、弱々しい稻妻の光りが、雨戸の隙から洩れてゐた。

と、階段に輕い足音がして、女中が上つて來た。

『もう、すつかり、雨もよつたやうで御座いますから、雨戸をお開けいたしませうか？』

『あゝ』と、龍夫は物憂さうに答へた。

女中がガタ〳〵と無遠慮に雨戸を開けてゐる間に、澄子は、涙を拭いたり、着物の亂れを繕ろつたりした。そして、ふと、澄子は外が全く夜になつてゐることに驚いた。

『まあ！』と、彼女は、思はず呟いた。

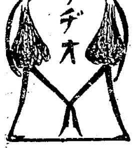
『旦那樣、海を御覽なさいまし。三日月樣が出てをりますから――』と、女中に云はれて、龍夫は何氣なく欄干に倚つた。成程、半ば晴れた西の空に、匂ふ樣な細い月がかゝつて、雲もゆつたりと流れてゐる。

夕飯を持つて來るからと云つて女中の去つた後、澄子も欄干に凭れた。

『ねえ、澄子さん！どうぞ、怒まないで下さい。そして、この次の汽車で東京に歸りませう。僕は、九時に歸るからと電報を打つて置いたですから――どうか、惡い奴だと思けないで下さい。これも、みんな貴女を愛してゐるからなんです。どうか、僕の卑しい心持を知つて下すつたら、怒らないで下さい』

龍夫は哀願するやうに云つた。

ラヂオ



四日（水曜日）

午前一一時五九分　正午の時報　今日のプログラム發表

午後〇時五分　氣象通報

同〇時二〇分　歌詞合唱　一、竹枝詞　二、黃鶴詞　三、時調
歌詞　金水晶
同　吳柳色
短籬　金奇山
杖鼓　金一宇

同〇時五〇分　琵琶合奏　勅題『朝の海』　京城旭會々員
仲野旭容　大山旭照　松村旭繕　小川旭厚　濱田旭麓　江藤旭富　本多旭映　村旭汀　吉田旭翠

同一時一〇分　琵琶　九連城　松井清水

同一時四五分　琵琶　那須與市　合原旭天臣

同六時〇分（A）子供の時間（第四夜）日本五大お伽噺　舌切雀　テキスト一二・一三ページ　澁谷小波

同六時二〇分（A）コドモの新聞

同六時二五分　演藝倶樂部調　第三　國屋五十二席　三國誌中『赤壁大戰』　鼓手　韓成俊　丁正烈

同七時〇分　ニュース　翌日のプログラム發表

同七時三〇分（A）狂言　末廣

野村萬齋

野村萬造

野村萬介

同八時〇分（B）浪花節　政談　德川天一坊　大岡

富士月子

同八時四〇分（A）哥澤　一、松の花　二、春は嬉ふ　三、夜のあめ
唄　哥澤芝金
三味線　哥澤芝梅

同九時〇分　百人一首かるた朗吟　上田文次郎

同九時三〇分（A）時報　引續き　氣象通報

琵琶合奏

午後〇時五〇分　勅題　朝の海　芝波里作歌、橘旭翁作曲　京城旭會員

東方に日出づる國あり大八島名も豐葦原の瑞穗國靑海原にさし下ろす天の沼矛の神代より歷史は長し三千歲千歲の木を萬世と天津日嗣の彌榮に榮え行くこそ頌とけれ君が代は千代に八千代にさゞれ石の巖となりて苔のむすまで

昭和の御代も八の年雞の八聲にほの〴〵と明け初めにけり初御空名に負ひもてる日の本の朝日普く輝けば四方の仇波影もなく平和の曙光滿ひつ靑海原は洋々と瑠璃を湛へし如くにて實にも靜けき朝かな治まる御代や明けの春　聖壽萬歲祝ひこめ歌ふ今日こそ目出度けれ歌ふ今日こそ目出度けれ（寫眞右より旭照、旭繕、旭厚、旭映、旭汀、旭島、旭容、旭翠）

琵琶

午後一時一〇分　九連城（錦心流）　松井清水

（歌詞）御旗――九連城に入相の空も心も晴れ渡り君が稜威の日章旗高く仰いで萬歲の勝鬨どつと擧にけり胸中有早已繼破　旗氣稜々睨敵營萬馬渡江如破竹　一鞭先領九連城　北の扶き大空の月の盃酌み交し互に傳ふ將卒は昨日迄け臥す韓山の雲にいぬ鴨綠江の風に起き艱苦を嘗めて糧にかへ共に踏み出す武者草難向ふけ何處修羅の道、敵は自然の嶮に倚り我は堂影に露營して忠義の外に栖もなし唯君のため國のため崇心一致磐より堅く地の利は人の和に如かぬこの理も日のあたり我日の本の大丈夫が丹心一度一致せば金城鐵壁も何かせむ鳴呼其國は大なるも逆に與する醜虜なり鳴呼我國は小なるも順に基く義軍なり日露の順逆自ら宇宙に響く知る處天もいかでか赦すべき

琵琶

午後一時四五分　那須與市　合原旭天臣

（曲目解說）時は元曆二年二月十八日の夕べ所は渺々金波をたゝへむ屋島の浦、若冠那須與市が生死の運を一矢に賭けて兩軍環視裡遠く海上の扇を射落さんとす何たる劇的の情景であらう面も與市が心中こそまたなく哀れにも入り傳るものである射落せとの御諚を受けた刹那與一身の榮辱に非ずとの責任感愈よ胸を海上に乘り入れた健兒の覺悟面も偏に神佛の加護を祈る心……平家物語に沖には平家舷を敲いて感じけり陸には源氏箙をたゝいてどよめけりの感激がそのまゝ我等にも湧いてくる。

新春の映畫

日活新春特作　一本杉　三枝源次郎作品

原作　眞山青果
脚色　毛利三郎
監督　三枝源次郎
撮影　須賀晴音

〔配役〕
九十九稱元　葉山富之助
長男朔太郎　岡田靜美
次男稱吉　宇留木浩
下男與五郎　山本嘉一
舟木甚太郎　吉井康
お島　新井三樹
妻　高津愛子
娘園江　
レビューガール浦子　近松里子
飛行家省崎　大島屯
村長吉岡　十輪史郎

梗概　陸前國鍛治谷澤に、德川時代からの古い歷史を持つ九十九橋と云ふ牧場があつた。その牧場の當主稱元には二人の息子があり、兄の朔太郎は家業をついで懸命に働いてゐたが、弟の稱吉は飛行士となつて東京で生活してゐたが學生時代からノラクラ者なので研究をよそにレビューガール等と遊んでゐる方が多かつた、たが弟思ひの朔太郎は頑固な父にかくれて借金をしたり、牛を賣つたりして弟に金を送つて居たがその金は遊興費として湯水の如く稱吉に費消されて行つた。併し怠けものでも名聲は欲しかつた稱吉は省崎が次第に有名になつて行くのがたまらなく腹立しかつた。それで無理とは知りながらも兄に金へ賭り、兄に二部の無心をしたが傾きかけてゐる九十九橋の家にはもう何も無かつた。考へた、稱吉は村の素封家舟木の娘に接近し、彼女の家から研究費を得ようとして兄に園江を嫁に欲しいと申し出た

朔太郎は困つた何故かなら稱吉は知らなかつたが朔太郎と園江は結婚の話が持ち上つてゐたからだ。併し朔太郎は、稱吉が園江を愛してゐると思ひ園江と稱らめ弟に戀を讓つた。園江と稱吉の東京での生活は、レビューガールの浦子のために、打ちこはされてしまつた

稱吉のだらしない生活が續き當然の結果、彼は金に窮し、園江の父の名で手形を僞造し、飛行機を造つてます〳〵有名になつて行く省崎と飛行競技をすることにした

その競技の直前、手形僞造が發覺し、父の稱元はそれを恥じて自害した

常々から朔太郎に同情し稱吉を憎んでゐた下男の與五郎は稱元の逝去と稱元の血の染んだ短刀を持つて上京し、稱吉を刺さうとしたが朔太郎は手形僞造の罪も自分で負ひ與五郎を抱きとめて稱吉を逃がした

さすがの稱吉も父の自殺や兄の熱誠に感激して自責の念をひし〳〵と胸に感じないわけにはゆかなかつた

さて省崎と稱吉の晴れの飛行競技の朝が來た。稱吉は如何にして深い自分の罪をつぐなつたか――（をはり）――

京城府義州通二丁目廿七番地ノ一　東洋畜產興業株式會社　電話本局五一七番・六六七番

京城府本町二丁目　諸官衙御用　制服諸學生服　毛織物綿布商　岡洋服店　電話本局三二三八番　振替京城一〇三五番

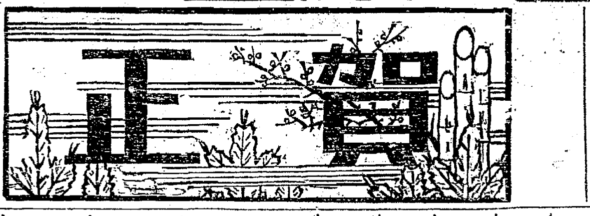
京城府本町二ノ八一　石川物產商會　電本一八八四番

京城長谷川町　後藤豊藏商店　電話本局二一一八

京城本町一丁目　アサヒ樂器店　電本三六五九番

京城本町一　シノサキ文具店　電本一八六番

千代田生命保險相互會社　京城支部



京城府京町一二　朝日酸素商會　電話龍山一〇〇四番

京城府漢江通十三　戸張工業所　戸張又市　電話龍山五三四番

金泉驛前　金泉齒科醫院　南里直

金泉邑　伊藤季薫

金泉郵便局長　江田源藏

金泉少年刑務所　職員一同

金泉驛前　上田彌精米部

金泉邑　高德煥

平北郭山　郭山公立普通學校　職員一同

楊州郡廳

田村酒場

南原　白川多賀次郎

南原邑　李和珪

任實公立普通學校　黑川漸

南原　明見商店

淳昌　江口舜一

鈴木・保治

全州　食料雑貨　川島商店　電話三四番

井邑　染川德一

大和旅館　全北井邑　電話七〇番

全北井州邑長　酒匂丈

井邑土木管區出張所

全北古阜　和田孫九郎

扶安　桑原文雄

南原郵便局員一同

南原　吉川善十郎

茂山郡廳職員一同

茂朱警察署員一同

任實警察署職員一同

錦山郡廳職員一同

礪浦　明渡誠一

古阜　青木武治郎

井邑公立農業學校　小學校　普通學校

古阜　並松茂

專賣局　金泉出張所職員一同

井邑警察署職員一同

古阜　正木商店

鎭安警察署員一同

全州刑務所職員一同

全州道立病院職員一同

全州郵便局職員一同

全州公立高等女學校　全州公立女子高等普通學校　職員一同

全州公立高等普通學校　職員一同

扶安公立普通學校　職員一同

井邑產業組合

井邑郡廳職員一同

扶安米穀商組合

扶安安全自動車株式會社

高敞警察署僚友會

高敞　吉田藤平

金堤土曜會

金堤木曜會

道立金泉醫院　職員一同

慶尚北道金泉　中川太平

朝鮮自動車株式會社　金泉出張所

金泉錦町　御料理　東雲樓　電話一〇〇番

金泉邑內　公立學校職員一同

金泉警察署職員一同

牙川公立普通學校　校長　川田德信　訓導　徐錫井　同　姜百壽　同　金寶具　同　申処植

金泉邑長　信田芳

大興電氣株式會社　金泉支店長　天野五郎

金泉　材木商　松本是

金泉錦町　米雜穀商　福岡直助　電話一八・三五番

金泉邑本町　高田廉吉商店

金泉　立川書店

慶北龜尾　石川商店

金泉邑城內町　割烹　初音　電話一六〇番

金泉邑錦町　和洋御料理　クラブ食堂　電話一六二番

金泉　麴子株式會社　電話二七番

城內病院　內科、小兒科、產婦人科、花柳病、外科其の他一般（紫外線・オゾン療法・肛門病特設科）　勅使河原長治　電話二一五番

慶北金泉　改良溫突焚口　新製釜　諸機械　吉岡鐵物製作所　電話一〇四番

慶北安東邑　安東電氣株式會社

浦項邑會議員　金東總

慶北浦項邑　古川醸造場　電話六番　振替釜山六六番

慶尚北道評議員　金斗河　浦項

九龍浦漁業組合　迎日郡

迎日郡浦項　小山旅館　電話一〇三番

浦項仲町　橋本旅館　電話八番

慶北浦項仲町　各種印刷　合同印刷所　電話一一七番

慶北果物同業組合

御土產　食料品商　九州堂　主　吉田久吉　大邱驛前

大邱府中央通　森清吉

大邱府會議員　裵永惪

天龍堂　大邱府

大邱府上町　丸大洗濯店

大邱府銀町　クリーニング　木炭　丸大商會　電話四九七番

大邱府錦町　平櫛商店

慶北尚州　消防組頭　水谷鍬次郎

慶北尚州　稻垣文華堂商店

清道警察署　職員一同

慶北道會議員　大邱府　主　權重明

達城公立普通學校

活動常設館　萬鏡館

片倉生命保險會社　南鮮支部　大邱府上町

大邱府旧町　岡與市

大邱府會議員　辯護士　金完燮

大邱府東城町　青木勝

慶北道評議員　徐丙朝

慶北道評議員　金在煥

大邱府市場町　姜致雲

金泉金曜會

慶北尚州　公醫　志方勝夫

慶北尚州　穀物商組合

慶北尚州　稻垣德三郎

慶北安東　邑長　蜂屋孝之

慶北山林種苗組合

大邱府　鄭海鵬

金泉公立普通學校長　鄭烈模

慶北尚州郡　咸昌穀物商組合

大邱府壽町　古谷治輔

咸昌公立普通學校長　芳尾寅太郎

牙浦公立普通學校　職員一同

金泉山公立普通學校長　福崎石伊

咸慶公立普通學校　職員一同

金泉郡廳員一同

朝鮮慶尚北道迎日郡東海面　葡萄栽培、葡萄酒、ブランデー釀造　ミツワ浦項農場　振替京城五三七四番　電話都邱五番

慶尚北道々農會　同畜產組合聯合會

浦項金曜會

大邱府錦町　石炭商　梅根商店　主　梅根菊平

大邱府七星町　朝鮮麵子製造株式會社

迎日郡廳職員一同　迎日漁業團體職員一同

大邱府大和町　芳德商會

大邱十五日會